第18回教育委員会定例会　案件表

○ 日　時

令和3年9月17日(金)　　午前10時00分から

○ 議　題

１　議　案

(1) 議案第76号　保育利用あっせん処分に係る審査請求について　(資料1)

２　協　議

(1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕

(2) 令和３年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について〔継続審議〕

３　報　告

(1) 教育長報告

① 練馬区版総合戦略重要業績評価指標（ＫＰＩ）および第２次みどりの風吹くまちビジョンアクションプラン[年度別取組計画]の令和２年度末の進捗状況について　(参考資料1･2)

② 第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画の実施状況（令和２年度）について　(資料2)

③ 令和３年第三回練馬区議会定例会提出議案について　(資料3)

④ 令和４年度学校用務業務民間委託について　(資料4)

⑤ 令和４年度学校給食調理業務民間委託について　(資料5)

⑥ 令和３年度　全国学力・学習状況調査結果（概要）について　(資料6)

⑦ 練馬区新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策強化月間の実施について　(資料7)

⑧ 第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの検討に向けたニーズ調査の実施について　(資料8)

⑨ その他

参考資料 1

令和３年９月16日
企画部企画課
区政改革担当部区政改革担当課

練馬区版総合戦略 重要業績評価指標（KPI）および第２次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン［年度別取組計画］の令和２年度末の進捗状況について

１ 練馬区版総合戦略 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体は、国の長期ビジョン・総合戦略を踏まえて、地方版総合戦略を定めることが求められた。

練馬区では、第2次みどりの風吹くまちビジョンを、地方版総合戦略と位置付けている。

地方版総合戦略に基づく取組についてPDCA サイクル（Plan・Do・Check・Action）を通じた効果検証を行うため、「重要業績評価指標（KPI）※」を、平成27年12月に設定しており、今回、令和2年度末の進捗状況を取りまとめた。

※重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）
・・・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

２ 第2次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン[年度別取組計画]の進捗状況

第2次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン[年度別取組計画]については、事業の進捗状況を毎年度、点検・検証して結果を公表しながら取組を進めることとしており、今回、令和2年度末の進捗状況を取りまとめた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、「B 遅れや修正が生じたもの」が増加している。

評価	進捗状況		令和2年度 事業数①	令和2年度 割合	令和元年度 事業数②	令和元年度 割合	対前年度（①-②）
A＋	計画以上に進んだもの		26	7%	15	4%	11
A	概ね計画どおりのもの		224	62%	260	72%	－36
B	遅れや修正が生じたもの		72	20%	36	10%	36
	内訳	⑴新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けたもの	53	15%	10	3%	43
		⑵まちづくり事業等の進捗状況により予定変更が生じたもの	9	2%	11	3%	－1
		⑶工事等の進捗状況により予定変更が生じたもの	8	2%	6	2%	1
		⑷その他（事業予定の見直し等によるもの）	2	1%	9	2%	－7
＊	短期での評価がなじまないもの		30	8%	28	8%	2
―	令和2年度末までに取組がないもの		10	3%	23	6%	－13
	合計		362	100%	362	100%	0

参考資料 2

練馬区版総合戦略　重要業績評価指標（KPI）および

第２次みどりの風吹くまちビジョン　アクションプラン［年度別取組計画］

令和２年度末の進捗状況

令和3年（2021年）9月

練　馬　区

― 目次 ―

練馬区版総合戦略
重要業績評価指標（KPI）の令和２年度末実績 ・・・ 1

表　の　見　方 ・・・ 2
基本目標Ⅰ： 子どもたちの笑顔輝くまち ・・・ 3
基本目標Ⅱ： 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち ・・・ 5
基本目標Ⅲ： 安心を支える福祉と医療のまち ・・・ 6
基本目標Ⅳ： 安全・快適、みどりあふれるまち ・・・ 8
基本目標Ⅴ： いきいきと心豊かに暮らせるまち ・・・ 10
基本目標Ⅵ： 区民とともに区政を進める ・・・ 12

第２次みどりの風吹くまちビジョン
アクションプラン[年度別取組計画]令和２年度末の進捗状況 ・・・ 13

表　の　見　方 ・・・ 14
戦略計画１： 子育てのかたちを選択できる社会の実現 ・・・ 15
戦略計画２： 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実 ・・・ 16
戦略計画３： すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり ・・・ 18
戦略計画４： 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成 ・・・ 18
戦略計画５： 高齢者地域包括ケアシステムの確立 ・・・ 21
戦略計画６： 元気高齢者の活躍と介護予防の推進 ・・・ 23
戦略計画７： 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備 ・・・ 24
戦略計画８： ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援 ・・・ 25
戦略計画９： 住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備 ・・・ 27
戦略計画10： みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現 ・・・ 28
戦略計画11： 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」 ・・・ 29
戦略計画12： みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備 ・・・ 32
戦略計画13： 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり ・・・ 38
戦略計画14： 練馬のみどりを未来へつなぐ ・・・ 40
戦略計画15： 住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ ・・・ 42
戦略計画16： 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり ・・・ 42
戦略計画17： 生きた農と共存する都市農業のまち練馬 ・・・ 44
戦略計画18： 練馬ならではの都市文化を楽しめるまち ・・・ 45
戦略計画19： 豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち ・・・ 47
戦略計画20： 区民協働による住民自治の創造 ・・・ 48
戦略計画21： 窓口から区役所を変える ・・・ 49
参　　考　： 第2次みどりの風吹くまちビジョンとSDGs ・・・ 51

練馬区版総合戦略

重要業績評価指標（KPI）の令和２年度末実績

【表の見方】

計画1　子育てのかたちを選択できる社会の実現

指標	目 標 値 （原則：令和３年度末）	現 状 値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
外遊びの事業（おひさまぴよぴよ）の増設	８か所 ①	６か所 ②	１か所開設 〔計７か所〕 ③	― 〔計7か所〕 ④
練馬こどもカフェの創設	７か所	検討	３か所	2か所 〔計5か所〕

① 「目標値」欄

：原則として、令和3年度末の目標値を表示しています。それ以外の時点の目標年次とする場合は、時点を表示しています。

② 「現状値」欄

：原則として、平成30年度末の状況を記載しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

③ 「元年度末の実績」欄

：原則として、令和元年度末の実績を表示しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

④ 「令和2年度末の実績」欄

：原則として、令和2年度末の実績を表示しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

【 重要業績評価指標（KPI※）とは 】

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体は、国の長期ビジョン・総合戦略を踏まえて、地方版総合戦略を定めることが求められました。

練馬区では、「第２次みどりの風吹くまちビジョン」（平成31年3月策定）およびアクションプラン（令和元年6月策定）をあわせて、地方版総合戦略と位置付けています。地方版総合戦略に定めた取組について、PDCAサイクル（Plan・Do・Check・Action）を通じた効果検証を行うため、重要業績評価指標（KPI）を設定しました。

※KPI＝　Key Perfomance　Indicatorの略

基本目標：Ⅰ　子どもたちの笑顔輝くまち

計画1　子育てのかたちを選択できる社会の実現

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
外遊びの事業（おひさまぴよぴよ）の増設	８か所	６か所	１か所開設 〔計７か所〕	― 〔計７か所〕
練馬こどもカフェの創設	７か所	検討	３か所	２か所 〔計５か所〕
認可保育所の増設	181所 （定員15,660人）	165所 （定員14,760人）	16所 （定員800人） 〔計181所〕	９所 （定員474人） 〔計190所〕
練馬こども園の認定	25園	16園	４園認定※ 〔計20園認定〕	２園認定 〔計22園認定〕
保育所等入所希望者受入率	100%	99.9% （H31年4月1日現在）	99.9% （令和2年4月1日現在）	100% （令和3年4月1日現在）

※令和元年度に短時間型、低年齢型を創設した。標準型１園、短時間型１園、低年齢型２園（うち１園は標準型として既に認定している園と重複）を認定。

計画2　子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
母子健康電子システムの構築	運用開始	検討	検討	一部運用開始
外遊びの事業（おひさまぴよぴよ） 相談員の配置	８か所	―	７か所配置	― 〔計７か所配置〕
子ども家庭支援センターによる支援体制の強化	増員	心理５人、保健師４人、福祉等15人、非常勤相談員10人	増員 （心理　２人） （福祉　３人）	増員 （心理　２人） （福祉　４人）
都と共同で取り組む仕組みの構築	都と共同で取り組む仕組みの構築	協議開始	協議	都と共同で取り組む仕組みの構築
子ども家庭支援センターの相談件数	現状値から増加	6,402件	6,589件	7,518件

計画３　すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
ねりっこクラブの実施	35校	13校	６校開始 〔計19校〕	８校開始 〔計27校〕
夏休み居場所づくり事業の実施	11校	７校	10校	12校
ねりっこ学童クラブ入会希望者受入率	100%	97.2% （H31年4月1日現在）	96.8% （令和2年4月1日現在）	98.2%※ （令和3年4月1日現在）

※令和３年度から実施したねりっこプラス事業で受け入れた利用者を含む。

計画4　夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
電子黒板・教員用タブレットパソコン全校配備 児童生徒用タブレットパソコンの配備	全校配備 配備（一部）	モデル校での活用状況の検証	全校配備 検討	― 配備（完了）
地域未来塾の実施	75校	70校	３校開始 〔計71校※〕	４校開始 〔計75校〕
特別な支援を要する不登校児童・生徒への支援の拡大	対象年齢拡大 定員拡大	実施 （小中学生対象）	対象年齢拡大 （18歳まで）	定員拡大 （小中学生）
ICTを活用して指導できる教員の割合 （文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」により測定）	現状値から上昇	74.1%	81.3%	87.5%

※平成30年度に実施した学校のうち２校が未実施のため、実施校数は71校。

基本目標：Ⅱ　高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

計画５　高齢者地域包括ケアシステムの確立

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
地域包括支援センターの移転	３か所移転	―	移転・設計・工事	２か所移転
担当区域見直し	担当区域見直し	調整・検討	実施	実施
地域包括支援センターを中心とした在宅療養ネットワークの構築	充実	在宅療養ネットワーク事業の実施	充実	一部実施
特別養護老人ホームの施設数	35施設 （定員2,550人分）	30施設 （定員2,173人分）	1施設 42人分 （定員2,215人） 〔計31施設〕	2施設　108人分 （定員2,323人） 〔計33施設〕
高齢者在宅生活あんしん事業の利用者数	年間2,100人	年間1,648人	年間1,808人	年間1,921人
地域包括支援センターの相談件数	現状値より増加	年間165,157件	年間181,929件	年間215,017件

計画6　元気高齢者の活躍と介護予防の推進

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
就職支援セミナー・職場体験の実施	実施	―	開始	実施
はつらつシニア活躍応援塾の実施	実施	―	開始	実施
街かどケアカフェ 常設型　出張所跡施設等での開設	５か所	３か所	１か所開設準備	１か所開設 〔計４か所〕 １か所開設準備
街かどケアカフェ 出張型　コンビニ・薬局と連携した実施	実施・充実	―	開始	一部実施
はつらつシニアクラブの参加者数	1,800人	1,414人	1,482人	682人
はつらつシニアクラブの実施箇所数	18か所	16か所	２か所増 〔計18か所〕	― 〔計18か所〕
要介護認定率 （第７期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）	21.9%以下 （令和３年９月末）	20.5% （平成30年９月末）	21.0% （令和元年９月末）	21.2% （令和２年９月末）

基本目標：Ⅲ　安心を支える福祉と医療のまち

計画７　障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
重度障害者グループホームの整備	27室程度	17室	― （工事）	17室 〔計34室〕
福祉施設等から一般就労した年間の障害者数	年間200人	年間226人	年間204人	年間187人
就労定着支援事業の利用者数	年間160人	年間98人	年間140人	年間158人
農福連携作業に携わる障害者施設数	９施設	６施設	１施設増 〔計７施設〕	４施設増 〔計11施設〕

計画8　ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実	相談窓口への弁護士の配置 出張相談の実施	プロジェクトの効果・検証	相談窓口への弁護士の配置 出張相談の開始	― 実施
生活保護受給世帯の子どもへの支援 （子ども支援員の体制強化）	強化	支援の実施	―	強化
中３勉強会の実施	年間80回	年間56回	年間80回	年間80回
中３勉強会利用者の出席率	80%	80.4%	71.6%	69.5%

計画９　住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備				
指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
順天堂練馬病院の増床	490床（90床増）	400床	― （工事）	90床増床 〔計490床〕
練馬光が丘病院の移転・改築	457床（115床増） （令和4年度）	342床	― （実施設計【完了】）	工事
高野台新病院の整備	218床	―	― （実施設計【完了】）	工事
練馬区医師会による（仮称）医療連携・在宅医療サポートセンターの開設	開設	関係機関調整	関係機関調整	開設準備
人口10万人あたりの一般・療養病床数	人口10万人あたり 320床	人口10万人あたり 281床	人口10万人あたり 279床	人口10万人あたり 275床

計画10　みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現				
指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」のコンテンツの充実	充実	検討	充実	充実
「ねりまちてくてくサプリ」の登録人数	約20,000人	約8,300人	12,545人	16,434人

基本目標：Ⅳ　安全・快適、みどりあふれるまち

計画11　地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
防災まちづくり推進地区における改善事業の実施	事業地区の指定（３地区程度）・周知・助成	制度の検討	構築 事業地区の指定（３地区）	周知・助成
一般緊急輸送道路沿道建築物等の耐震改修件数	19件	８件	５件 〔計13件〕	13件 〔計26件〕
地域別防災マップの作成	３地域作成	１地域選定	１地域選定 １地域作成	１地域選定 １地域作成
防災訓練年間参加者数	75,000人	72,000人	70,976人	12,426人
地域防災力の向上、安全・安心な地域づくりに対する満足評価	現状値から上昇	59.4%	59.4%	64.3%

計画12　みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
都市計画道路の整備着手率	約７割	約６割	約６割	約６割
西武新宿線の立体化鉄道付属街路等の事業着手に向けた準備	事業着手に向けた準備	都市計画原案作成	都市計画案作成	都市計画決定に向けた準備
みどりバスの再編等による公共交通空白地域改善の推進	再編 （保谷・関町・大泉・南大泉ルート）	再編に向けた調整 （保谷・大泉・南大泉ルート）	再編に向けた調整 （保谷・大泉・南大泉ルート）	再編に向けた調整（保谷・関町・大泉・南大泉ルート）
みどりバスの乗車人数	1,170,000人	1,147,154人	1,118,228人	771,689人

計画13　魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
上石神井駅周辺地区のまちづくり	上石神井駅前のまちづくり 事業計画検討	事業手法検討	事業計画検討	事業計画検討
大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり	（仮称）大泉学園町駅予定地周辺のまちづくり 事業計画作成	整備計画検討	事業手法検討	事業手法検討
石神井公園駅周辺地区のまちづくり	南口西地区市街地再開発事業 事業認可	合意形成活動	都市計画素案作成	都市計画原案作成 都市計画決定
「駅周辺のまちづくり」の施策に対する満足評価	現状値から上昇	50%	54.1%	53.8%

計画14　練馬のみどりを未来へつなぐ

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
稲荷山公園の拡張・整備の着手	事業説明会の開催 測量	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム策定	関係機関調整 稲荷山公園基本計画（素案）作成
大泉井頭公園の拡張・整備の着手	関係機関調整	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム策定	関係機関調整
特色ある公園等の整備	整備完了６か所	—	整備完了２か所	整備完了２か所 〔計４か所〕
個人のみどりを地域で守る新しい仕組みの構築	構築	事業内容の検討	モデル事業実施	調査・モデル事業案の作成
「みどりの保全と創出」に対する満足評価	現状値からの上昇	76%	76.9%	79.1%

計画15　住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
避難拠点でのＥＶ（電気自動車）等の活用	周知	災害時協力登録車制度の創設	周知.	周知
地域コジェネレーションの導入	導入２か所	基本協定締結１か所	導入準備 基本協定締結	導入 導入準備
「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価	現状値からの上昇	46.4%	50.5%	52.8%

基本目標：Ⅴ　いきいきと心豊かに暮らせるまち

計画16　地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
創業セミナー・創業支援融資の実施	実施	実施	実施	実施
学生向け創業セミナー等の実施	実施	―	中止	実施
産学連携セミナーの実施	実施	―	産学連携セミナーの開始	実施
福祉・生活関連産業への支援の実施	セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザー派遣の実施	セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザー派遣の開始	実施	実施
練馬ビジネスサポートセンターを利用した創業者数	現状値から増加	53人	58人	36人

計画17　生きた農と共存する都市農業のまち練馬

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
生産緑地貸借制度を活用した農地保全	農地斡旋の実施	農地所有者意向調査の実施・農地斡旋の仕組みの検討	農地斡旋の開始	実施
認定農業者・都市型認定農業者の新規認定	31経営体	22経営体	４経営体 〔計26経営体〕	４経営体 〔計30経営体〕
練馬果樹あるファームの開設支援	23件	６件	11件 〔計17件〕	７件 〔計24件〕
認定農業者・都市型認定農業者のうち農業収入が増えた農業者数	現状値から増加	55人	62人	63人

計画18　練馬ならではの都市文化を楽しめるまち

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
みどり豊かなまちと一体となった練馬独自の新しい美術館の創造	再整備基本構想に基づく設計	再整備基本構想の検討	構想の検討（委員会提言）	構想の検討
四季を感じられるイベントの開催	実施	実施	実施	一部実施※
「映像文化のまち構想」策定	策定	検討	素案の公表	構想策定の延期
四季を感じられるイベントの来場者数	30,000人	27,013人	27,323人	993人※

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、花火フェスタおよびNerimaユニバーサルコンサートを中止し、真夏の音楽会と練馬薪能は規模を縮小して実施。

計画19　豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」での事業展開	公認記録会の実施	開園式典、記念イベント開催	公認記録会の開催	中止※
大泉さくら運動公園庭球場等整備	整備（完了）	設計	整備	―
大泉学園町希望が丘公園運動場（第Ⅱ期）	整備（完了）	設計	設計 整備	整備
ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開	６か所	３か所	０か所 〔計３か所〕	０か所※ 〔計３か所〕
ユニバーサルスポーツフェスティバル参加者数	現状値から増加	950人	911人	０人※

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。

基本目標：Ⅵ　区民とともに区政を進める

計画20　区民協働による住民自治の創造

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
町会・自治会組織の加入促進活動の実施	実施	実施	実施	実施 （一部中止）
相談情報ひろばの増設	14か所	10か所	開設無し 〔計10か所〕	開設無し 〔計10か所〕
パワーアップカレッジねりまのリニューアル	実施	開始準備	開始準備	開始
地域おこしプロジェクトの支援内容の充実	充実	検討	検討	充実
リニューアル後のパワーアップカレッジねりまの卒業生が地域活動団体へ加入した割合	20%	―	― 〔つながるカレッジねりま公開プレ講座開催、 令和２年度受講生決定、 ポータルサイト開設〕	89%

計画21　窓口から区役所を変える

指標	目　標　値 （原則：令和３年度末）	現　状　値 （原則：平成30年度末）	令和元年度末の実績	令和２年度末の実績
乳幼児一時預かり事業インターネット予約システム運用開始	運用開始	検討	構築	運用開始
窓口情報提供システムの拡大	17か所	1か所	16か所導入（練馬区民事務所ほか） 〔計17か所〕	1か所導入 （マイナンバーカード交付窓口） 〔計18か所〕
FAQの職員活用	実施	検討	開始	実施
申請書一括作成システムの導入	導入	検討	構築	導入 （区民事務所６か所）
電子申請利用件数（東京電子自治体共同運営サービス）	4,400件	3,465件	8,454件	13,867件
窓口情報提供システムへのアクセス数	前年度実績から増加	―	140,915回 （令和２年１月～３月）	834,042回

第２次みどりの風吹くまちビジョン

アクションプラン

[年度別取組計画]

令和２年度末の進捗状況

【表の見方】

戦略計画1　子育てのかたちを選択できる社会の実現							
取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
1　家庭での子育て支援サービスの充実							
	①子育てのひろば 計27か所	計26か所	1か所開設	検討	1か所開設	A	1か所開設したが、1か所閉室したため、令和3年4月1日現在の施設数は26か所となる。閉室につき、1施設については令和5年度以降に新規開設する予定
	②外遊びの事業 （おひさまぴよぴよ） 計8か所	計6か所	1か所開設	―	―	A	令和元年度に開設済

①　②　③　④

① 令和3年度目標、平成30年度末の現況（ビジョン策定時点）

「第２次みどりの風吹くまちビジョン　アクションプラン[年度別取組計画]」に記載されている策定時の内容が記載されています。

②　令和元年度末の実績

各事業の令和元年度末時点での取組実績を記載しています。

③　令和2年度

▶　当初計画

「第２次みどりの風吹くまちビジョン　アクションプラン[年度別取組計画]」に記載されている令和２年度の取組内容を記載しています。

▶　実績

各事業の令和２年度末時点での取組実績を記載しています。

④ 進捗状況

「進捗状況」欄の記号は、下記の内容を表しています。

- **A＋　・・・・・　計画以上に進んだもの**
- **A　・・・・・　概ね計画どおりのもの**
- **B　・・・・・　遅れや修正が生じたもの**

※ 道路事業・まちづくりなど、短期での評価になじまない事業については、「＊」を記載しています。

※ 令和２年度末までに取組が無い事業については、「ー」を記載しています。

Ⅰ　子どもたちの笑顔輝くまち

戦略計画１　子育てのかたちを選択できる社会の実現

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　家庭での子育て支援サービスの充実							
	①子育てのひろば 計27か所	計26か所	1か所開設	検討	1か所開設	A	1か所開設したが、1か所閉室したため、令和3年4月1日現在の施設数は26か所となる。閉室につき、1施設については令和5年度以降に新規開設する予定
	②外遊びの事業 （おひさまぴよぴよ） 計8か所	計6か所	1か所開設	―	―	A	令和元年度に開設済
	③発達に不安のある親子のひろば事業 （のびのびひろば） （5か所） 月2回実施(4か所) 月1回または2回実施(1か所)	月1回実施 （5か所）	月2回実施 （4か所） 月1回または 2回実施（1か所）	実施	実施	A	
	④憩いの森などを活用した外遊び事業の実施	検討	開始	充実	充実 （年4回実施）	A	
	⑤乳幼児一時預かり事業 インターネット予約システム運用開始	検討	構築	運用開始	運用開始	A	
	⑥ファミリーサポート事業 軽度障害児受入れ実施	検討	検討	開始	開始	A	
2　練馬こどもカフェの創設							
	練馬こどもカフェ 7か所	検討	3か所	2か所	2か所	A	
3　保育所待機児童の解消							
(1)保育所の拡充	①【認可保育所】 計181所 （定員15,660人）	計165所 （定員14,760人）	16所 （定員800人）	検討	9所 （定員474人）	A	ニーズ調査の結果、9所（410人）を予定していたもの。
	② 東大泉保育園の改築による定員増	工事	工事（完了）	―	―	A	令和元年度に工事完了済
	② 上石神井第三保育園の改築による定員増	実施設計	中断中	工事	中断中	＊	都営住宅転居拒否者のため解体工事着手が遅れたため。
(2)安心して保育サービスを利用できる仕組みづくり	保育サービスを安心して利用できる仕組みづくり	検討	検討	実施	実施	A	
(3)多様な保育サービスの充実	延長保育 計150所	計115か所	15か所開始	18か所開始	18か所開始	A	
	病児・病後児保育 計8か所	計7か所	1か所開始	―	―	A	令和元年度に開始済

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
4 「練馬こども園」の充実							
	練馬こども園 計25園	計16園	4園認定	3園認定	2園認定	A	令和元年度に、短時間型（9時間以上11時間未満）および低年齢型（0～2歳児）を創設した。 令和元年度に4園認定しており、令和元・2年度の通算計画6園を達成している。 令和2年度末時点で22園認定（低年齢型2園のうち1園は標準型として認定している園と重複認定）。実園数は21園
	区立幼稚園3園の練馬こども園化	検討	検討	検討	検討	A	
5 教育・保育サービスのあり方の検討							
	教育・保育サービスのあり方の検討・公表	―	作成・公表	公表	―	A	令和元年度に作成・公表を行った。
6 ＩＣＴを活用した子育て関連サービスの拡充							
	保育園入園申請のオンライン手続の導入検討	検討	検討	検討	検討	A	
	乳幼児一時預かり事業【戦略計画1-1の再掲】 インターネット予約システム運用開始	検討	構築	運用開始	運用開始	A （再掲）	

戦略計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
1 母子健康電子システムの構築							
	母子健康電子システムの構築	検討	検討	一部運用開始	一部運用開始	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
2　乳幼児親子の身近な相談場所の拡充							
	①外遊びの事業（おひさまぴよぴよ）（8か所） 相談員の配置 8か所	—	7か所配置	—	—	A	令和元年度に配置済み
	②児童館学童クラブ室を活用した子育てひろば(にこにこ)（17か所） 相談員の配置 4か所	—	検討	2か所配置	2か所配置	A	
	③発達に不安のある親子のひろば事業（のびのびひろば）（5か所）【戦略計画1-1の再掲】 月2回実施(4か所) 月1回または2回実施(1か所)	月1回実施（5か所）	月2回実施（4か所） 月1回または2回実施(1か所)	実施	実施	A（再掲）	
3　成長発達に関わる相談サポート体制の充実							
	①妊娠・子育て相談員による全ての妊婦との面談・支援の実施	実施	実施	実施	実施	A	
	②保健相談所への心理相談員の配置	—	—	配置	配置（4名）	A	
4　新しい児童相談体制の構築							
	① 子ども家庭支援センターによる支援体制の充実						
	支援体制の強化	心理　5人 保健師　4人 福祉等　15人 非常勤相談員　10人	増員（心理　2人）（福祉　3人）	—	増員（心理　2人）（福祉　4人）	A+	引き続き専門職員を増員
	スーパーバイザーの配置(弁護士・児童相談所OB等)	—	配置（弁護士延24人）（児童相談所OB延22人）	—	—	A	令和元年度に配置済み
	②都児童相談センターとの連携の強化						
	都との協議 都と共同で取り組む仕組みの構築	協議開始	協議	協議	都と共同で取り組む仕組みの構築	A+	令和2年7月に都区共同の練馬区虐待対応拠点を設置
	都児童相談センターへの区職員派遣 拡大	課長級（月2回1人） 一般職員（通年1人）	課長級（通年1人）（月2回1人） 一般職員（通年2人）	—	—	A+	一般職員について、令和元年度から計画値の1名を上回る2名を派遣しているため。
	要支援家庭を対象としたショートステイ事業受入対象年齢の拡大	拡大の検討（対象年齢2-12歳）	拡大（対象年齢0-12歳）	検討	検討	A	
	協力家庭によるショートステイ事業の実施	—	検討	開始	開始	A	令和3年1月から家庭型子どもショートステイ事業として実施
	都児童相談センターからの事案送致・指導措置委託	協議	開始	実施	実施	A	

戦略計画3　すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　ねりっこクラブの全小学校での実施							
	ねりっこクラブの実施 計35校	計13校	6校開始	8校　開始	8校　開始	A	
2　夏休み居場所づくり事業の拡充							
	夏休み居場所づくり事業の実施 11校	7校	10校	11校	12校	A+	予定より多くの学校で調整が整ったため。
3　民間学童保育の拡充							
	運営費助成 13施設	10施設	3施設	拡大	拡大 （2施設）	A	
4　キッズ安心メールの利用拡大							
	キッズ安心メールの学校応援団ひろば室への設置 計20校設置	—	準備	10校設置	10校設置	A	
関連する事業							
1　児童館の機能の見直し							
	①中学生・高校生向け事業を実施	実施	充実	充実	縮小	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため縮小
	②児童館学童クラブ室を活用した子育てひろば(にこにこ)（17か所）【戦略計画2-2の再掲】 相談員の配置 4か所	—	検討	2か所配置	2か所配置	A （再掲）	
	③出前児童館の実施	検討	実施	充実	縮小	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため縮小

戦略計画4　夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　教育の質の向上							
(1) ICT環境の整備の推進	電子黒板・教員用タブレットパソコン 全校配備 児童生徒用タブレットパソコンの配備	モデル校での活用状況の検証	全校配備 検討	— 配備	— 配備（完了）	A+	GIGAスクール構想の早期実現および新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うオンライン学習環境等の早期整備を図るため、「練馬区学校ICT環境整備計画」を前倒しして、3か年で配備する予定だった児童生徒用タブレットパソコンを、令和2年度に全児童・生徒に配備した。

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
(2)学校図書館の機能強化	学校図書館の情報化 計98校／98校	計37校	31校	30校	30校	A	
	学校図書館への人的配置 支援の充実に向けた検討	検討	検討	検討	検討	A	
(3)小中学校校舎等の改築の推進	①大泉東小学校 工事(完了)	工事	工事 (完了)	―	―	A	令和元年度に工事完了済み
	②下石神井小学校 工事(完了)	工事	工事	工事	工事	A	
	③石神井小学校 工事(完了)	工事	工事	工事	工事	A	
	④大泉西中学校 工事(完了)	工事	工事	工事	工事	A	
	⑤関町北小学校 工事(一部)	実施設計	実施設計 工事	工事	工事	A	
	⑥上石神井北小学校 工事(一部)	―	基本設計	実施設計	実施設計	A	
	⑦旭丘小学校 旭丘中学校 実施設計	―	―	基本設計	基本設計	A	
	⑧令和3年度に改築に着手する学校 (2校程度) 基本設計	―	―	―	―	―	
(4)小中学校体育館の空調設備の整備	設置完了 計43校	計2校	14校	14校	14校	A	
(5)小中学校トイレの改修	工事完了　計24校	計6校	6校	6校	6校	A	
(6)区立学校の適正配置	適正配置の推進	検討	新たな基本方針の検討	適正配置の推進	新たな基本方針の検討	B	35人学級の導入や児童・生徒数の動向、学校施設の状況など総合的な検討を行う必要があるため。
(7)小中一貫教育の推進	①研究発表グループの指定による小中一貫教育の研究・実践	7グループ指定	7グループ指定	9グループ指定	9グループ指定	A	
	②2校目の小中一貫教育校の設置に向けた調整・実施設計	調整	調整	調整 基本設計	調整 基本設計	A	
(8)次期学習指導要領に対応した教員研修の実施	次期学習指導要領に対応した研修の実施	検討	実施	実施	実施	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
(9)教員の働き方改革	部活動の在り方に関する方針に基づく取組の実施	検討	方針の策定	実施	実施	A	
	学校徴収金管理システムの運用	構築	運用	運用	運用	A	
(10)英語指導の充実	小学校3・4年生へのALT配置	検討	準備	配置	配置	A	
2　家庭や地域と連携した教育の推進							
(1)地域と連携した教育活動や体験活動の推進	①学校・地域連携事業						
	地域未来塾 実施　75校	70校	3校開始	拡大	拡大 （4校開始）	A	
	学校サポーター登録制度 （人材バンク） 登録拡大	個人登録　320人 団体登録　11団体	拡大 （新規登録 個人登録 44人 団体登録 2団体）	拡大	拡大 （新規登録 個人登録 54人）	A	
	②学校外の体験学習やボランティア活動の参加促進	促進	促進	促進	促進	A	
(2)校外学習の見直し・充実	校外学習の実施方法の見直し・充実	検討	検討	検討	検討	A	
(3)学校安全対策の拡充	指針を踏まえた対策の実施	指針策定	実施	実施	実施	A	
3　支援が必要な子どもたちへの取組の充実							
(1)不登校対策の充実	①タブレットパソコンを活用した学習支援 計15校	5校	5校配備	5校配備	9校配備	A+	当初計画を超える学校からの要望に応え、配備期間を柔軟に対応し、タブレットパソコンの活用を効率的に行ったため。
	② 特別な支援を要する不登校児童・生徒への支援の拡大	実施 （小中学生対象）	対象年齢拡大 （18歳まで）	定員拡大	定員拡大	A	
	② 適応指導教室の増設・検証	実施 （学校教育支援センター）	出前適応指導教室実施	－	増設 （上石神井）	A	令和元年度に関町地域では適当な施設が見つからず、出前適応指導教室を開催したが、令和2年度に要望の多かった区西部地域に民間施設を借り上げ開始した。
	③居場所支援事業実施場所の拡大 計2か所	実施 （1か所）	検討	増設 （石神井地域）	増設 （上石神井）	A	
(2)学習支援事業「中３勉強会」の実施	中3勉強会 （7か所） 年間80回	年間56回	年間80回	年間80回	年間80回	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　小学校就学前からの切れ目のない取組を展開							
(1) 幼保小連携の推進	「ねりま接続期プログラム」を活用した取組の実施	プログラムの策定	開始	実施	実施	A	
(2) 家庭教育支援事業の実施	家庭教育支援事業の実施	「検討会議」の設置 事業実施に向けた検討	実施	実施	未実施	B	家庭教育支援リーフレットを発行する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年掲載している「参加型事業（外遊びプレーパークやよみきかせ・おはなし会等）」が延期・中止等の措置になり、掲載情報が確定できなかったため未発行となった。

Ⅱ　高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

戦略計画5　高齢者地域包括ケアシステムの確立

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　地域包括支援センターの移転・増設							
	① 地域包括支援センターの移転・増設・担当区域見直し						
	3か所移転	―	移転・設計・工事	1か所移転	2か所移転	A+	北町はるのひ地域包括支援センター令和3年3月29日移転・名称変更 光が丘南地域包括支援センター令和3年3月22日移転・名称変更
	開設準備 2か所	計25か所	調整	調整	調整	A	
	担当区域見直し	調整・検討	実施	―	実施	A+	北町はるのひ、光が丘南の移転に伴い、光が丘圏域において、一部担当区域の見直しを行った。
	② ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の強化						
	新たな高齢者実態調査の実施	調査の見直し	実施	実施	実施	A	
	訪問支援員による戸別訪問支援の強化	実施	実施	強化	強化	A	
2　地域ごとの在宅療養ネットワークの構築							
	地域包括支援センターを中心とした在宅療養ネットワークの構築	在宅療養ネットワーク事業の実施	充実	充実	一部実施	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小
	主任ケアマネジャーによる地域同行型研修の実施	実施	充実	充実	一部実施	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部事業を見直して実施
3　特別養護老人ホーム等の施設整備・在宅サービスの充実							
(1) 特別養護老人ホーム等の施設の整備	①特別養護老人ホーム 計35施設 （定員2,550人分）	計30施設 （定員2,173人分）	1施設　42人分 （定員2,215人）	3施設　177人分 （定員2,470人分）	2施設　108人分 （定員2,323人）	B	入札不調等により、工期の遅れが発生しているものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
(1)特別養護老人ホーム等の施設の整備	②短期入所生活介護（ショートステイ） 計40施設 （定員416人分）	計35施設 （定員366人分）	1施設　2人分 （定員368人）	3施設　27人分 （定員406人分）	2施設　10人分 （定員378人）	B	入札不調等により、工期の遅れが発生しているものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
	③都市型軽費老人ホーム 計15施設 （定員290人）	計10施設 （定員190人）	整備なし （定員190人）	3施設　60人分 （定員270人）	4施設　80人分 （定員270人）	A	単年度での実績は大きく計画を上回っているが、累計ではR2末時点での目標どおりのためAとしている。
(2)在宅サービスの充実	①グループホーム 計38か所 （定員653人分）	計34か所 （定員581人）	整備なし （定員581人）	2か所　36人分 （定員617人）	1か所　18人分 （定員599人）	B	事業者の選定から建設まで時間を要するため開設には至っていないものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
	②定期巡回・随時対応型訪問介護看護 計14か所	計13か所	―	―	―	―	
	③看護小規模多機能型居宅介護 計7か所 （203人分）	計2か所 （定員58人分）	1か所 29人分 （定員87人）	2か所　58人分 （定員145人）	1か所　29人分 （定員116人）	B	事業者の選定から建設まで時間を要するため開設には至っていないものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
(3)高齢者在宅生活あんしん事業	利用者 年間2,100人	年間1,648人	年間1,808人	年間1,900人	年間1,921人	A	
(4)住まい確保支援事業の実施	住まい確保支援事業の実施	検討	開始	実施	実施	A	
	居住支援協議会の設置	調整	設置	―	―	A	令和元年度に実施済み
(5)介護人材の確保・育成・定着に向けて	①　介護人材の確保支援						
	練馬介護人材育成・研修センター研修・人材確保・相談支援の利用者 年間 3,500人	年間3,017人	年間3,130人	年間3,500人	年間2,084人	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部中止・定員制限のうえ研修を実施
	区独自の介護従事者養成研修の修了者 年間 210人	年間212人	年間175人	年間 210人	年間 130人	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員制限のうえ研修を実施
	元気高齢者による介護施設業務補助事業　対象施設の拡大【戦略計画6-3の再掲】	実施	対象施設の拡大	―	―	A （再掲）	令和元年度に実施済み
	②　介護人材の育成支援						
	資格助成の利用者 年間 300人	年間275人	年間346人	年間 300人	年間 270人	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、各資格講座実施機関が事業を一時休止
	外国人介護職員向け支援	事例紹介セミナーの開催	日本語研修のモデル実施	実施	実施	A	
	③　介護人材の定着支援						
	ICT機器等の導入支援	―	開始	実施	実施	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　コンビニと協働した地域の見守り体制の強化							
	「N-impro」を活用した認知症対応研修・体験会の実施	モデル事業実施・検証 ニンプロ講師の養成	実施	実施	実施	A	
戦略計画6　元気高齢者の活躍と介護予防の推進							
取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　高齢者の就業機会を拡大「シニアセカンドキャリア応援プロジェクト」の実施							
	就職支援セミナー・職場体験の実施	―	開始	実施	実施	A	
	起業・創業セミナーの実施	―	―	開始	開始	A	
2　高齢者の活動を後押し「はつらつシニア応援プロジェクト」の実施							
	はつらつシニア活躍応援塾の実施	―	開始	実施	実施	A	
3　高齢者の福祉分野での活躍を推進							
	元気高齢者による介護施設業務補助事業 対象施設の拡大	実施	対象施設の拡大	―	―	A	令和元年度に実施済み
4　区独自の介護予防事業の拡充							
(1)街かどケアカフェの充実	①　常設型 出張所跡施設等での開設 計5か所	計3か所	1か所開設準備	1か所開設	1か所開設 1か所開設準備	A	街かどケアカフェはるのひの開設準備（令和3年4月1日開設）
	②　地域サロン型 計30か所	計14か所	7か所増	6か所増	3か所増	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部協定締結を見送った。
	③出張型						
	区立施設等での実施	実施	充実	充実	一部実施	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小
	コンビニ・薬局と連携した実施	―	開始	充実	一部実施	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小
(2)はつらつシニアクラブの充実	参加者数 年間1,800人／36回	年間1,414人／32回	年間1,482人／34回	年間1,800人／36回	年間682人／26回	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小
	実施箇所数 計18か所	計16か所	2か所増	―	―	A	令和元年度に目標達成済み
(3)主体的に取り組む介護予防	①練馬区オリジナル三体操 普及拡大	―	拡大	拡大	拡大	A	
	②リハビリ専門職派遣 年間65団体	年間59団体	年間63団体	年間65団体	年間27団体	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業を中止
	③介護予防・生活支援サービス 利用者数 年間5,700人	年間5,067人	年間4,922人	年間5,520人	年間4,991人	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業を中止

Ⅲ　安心を支える福祉と医療のまち

戦略計画7　障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　重度障害者への支援の充実							
(1)住まいの確保	重度障害者グループホームの整備 計27室程度	計17室	―	10室程度	17室	A+	運営事業者から当初計画を超える室数の整備提案があったため。
	北町2丁目(都有地)での整備 開設(10室程度)	整備事業者選定	工事	工事 開設(10室程度)	工事 開設(17室)	A+	運営事業者から当初計画を超える室数の整備提案があったため。
	石神井町福祉園用地での整備 運営事業者選定	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	A	
	中軽度障害者グループホームの整備 計537室	計447室	48室	30室	89室	A+	運営事業者から当初計画を超える室数の整備提案があったため。
(2)医療的ケアに対応したショートステイの整備	開設準備	―	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	A	
(3)日中活動の場・福祉園の整備	工事	基本設計 実施設計(一部)	基本設計 実施設計(一部)	工事	実施設計(一部)	B	補助協議に時間を要したため。
(4)放課後等デイサービス事業所への支援	補助制度の開始	―	検討	開始	開始	A	
(5)居宅訪問型児童発達支援事業の開始	居宅訪問型児童発達支援事業の開始	検討	実施準備	開始	開始	A	
(6)地域生活支援拠点の整備	①障害者地域生活支援センターを中心とした「面的整備型」	開始	検証・充実	充実	充実	A	
	②重度障害者グループホームと一体となった「多機能拠点整備型」						
	北町2丁目(都有地)での整備 開設(10室程度) 【戦略計画7-1の再掲】	整備事業者選定	工事	工事 開設(10室程度)	工事 開設(17室)	A+ (再掲)	運営事業者から当初計画を超える室数の整備提案があったため。
	石神井町福祉園用地での整備 運営事業者選定 【戦略計画7-1の再掲】	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	A (再掲)	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
2　就労支援の充実・農福連携の推進							
	①福祉施設等から一般就労した年間の障害者数 年間 200人	年間 226人	年間 204人	年間 200人	年間187人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により企業求人数が減少するなどしたため。
	②就労定着支援事業の利用者数 年間 160人	年間 98人	年間140人	年間 130人	年間158人	A+	毎年約200人の就職者がおり、同事業を利用する方が増加しているため。
	③農福連携の推進						
	農福連携作業に携わる障害者施設数 計9施設	計6施設	1施設増	1施設増	4施設増	A+	新たに共同受注の仕組みを整えたことにより、農家と障害者施設のマッチングが進んだため。
	福祉連携農園の検討	—	検討	検討	検討	A	
3　障害特性に応じたきめ細やかな対応							
(1)精神障害者等への支援の充実	①相談体制の充実						
	訪問支援体制の強化	地域精神保健相談員 4名配置	体制強化	体制強化	体制強化 （地域精神保健相談員8名配置）	A	
	②社会参加と地域理解の促進						
	居場所に関する情報の発信	—	検討	情報の発信	検討	B	関係機関で検討を継続したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、区民を対象とした活動はできなかった。
(2)高齢化等に対応するための福祉作業所等の機能の見直し	①　福祉作業所 機能見直しの検討	検討	方針決定	検討	検討	A	
	②　障害者地域活動支援センター（谷原フレンド） 生活介護事業への機能転換	方針決定	調整	機能転換	機能転換	A	
(3)保育所等訪問支援事業の開始	保育所等訪問支援事業の開始	検討	実施準備	開始	開始	A	

戦略計画8　ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実							
	相談窓口への弁護士の配置	プロジェクトの効果・検証	相談窓口への弁護士の配置	—	—	A	令和元年度に配置済み
	出張相談の開始		出張相談の開始	実施	実施	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
2　生活保護受給世帯等の子どもに対する支援の充実							
(1)生活保護受給世帯の子どもへの支援の充実	①子ども支援員の体制強化	支援の実施	ー	強化	強化	A	
	②支援拠点 計2か所	1か所	調整	増設1か所	増設1か所	A	
(2)学習支援事業「中３勉強会」の実施【戦略計画4-3の再掲】	中3勉強会 (7か所) 年間80回	年間56回	年間80回	年間80回	年間80回	A (再掲)	
3　生活保護受給世帯に対する自立支援の充実							
	生活保護受給世帯に対する自立支援の充実	実施	充実	充実	充実	A	
4　新しい児童相談体制の構築 【戦略計画2-4の再掲】							
	① 子ども家庭支援センターによる支援体制の充実						
	支援体制の強化	心理　5人 保健師　4人 福祉等　15人 非常勤相談員　10人	増員 （心理　2人） （福祉　3人）	―	増員 （心理　2人） （福祉　4人）	A+ (再掲)	引き続き専門職員を増員
	スーパーバイザーの配置(弁護士・児童相談所OB等)	―	配置 （弁護士 延24人） （児童相談所OB 延22人）	―	―	A (再掲)	令和元年度に配置済み
	② 都児童相談センターとの連携の強化						
	都との協議 都と共同で取り組む仕組みの構築	協議開始	協議	協議	都と共同で取り組む仕組みの構築	A+ (再掲)	令和2年7月に都区共同の練馬区虐待対応拠点を設置
	都児童相談センターへの区職員派遣 拡大	課長級 （月2回1人） 一般職員 （通年1人）	課長級 （通年1人） （月2回1人） 一般職員 （通年2人）	―	―	A+ (再掲)	一般職員について、令和元年度より計画値の1名を上回る2名を派遣したため。
	要支援家庭を対象としたショートステイ事業 受入対象年齢の拡大	拡大の検討 （対象年齢2-12歳）	拡大 （対象年齢 0-12歳）	検討	検討	A (再掲)	
	協力家庭によるショートステイ事業の実施	―	検討	開始	開始	A (再掲)	令和3年1月から家庭型子どもショートステイ事業として実施
	都児童相談センターからの事案送致・指導措置委託	協議	開始	実施	実施	A (再掲)	

戦略計画9　住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
1　病床の確保							
(1)順天堂練馬病院の増床と医療機能の拡充	病床数　計490床	400床	—	90床増床	90床増床	A	
	外来棟 建設工事(完了)	建設工事	工事(完了)	—	—	A	令和元年度に工事完了済み
	既存病棟 改修工事(完了)	実施設計	工事	工事	工事(完了)	A	
	練馬高野台 いきいき歩道橋 改修工事(完了)	—	工事(完了)	—	—	A	令和元年度に工事完了済み
	整備費補助	—	—	—	—	—	
	救急医療および災害時医療に関する関係機関との調整	調整	調整	調整	調整	A	
(2)練馬光が丘病院の移転・改築	工事 (完了)	基本設計	実施設計(完了)	工事	工事	A	
	整備費補助	整備費補助	整備費補助	整備費補助	整備費補助	A	
	病院用地整備工事 (完了)	設計	工事(完了)	—	—	A	令和元年度に工事完了済み
(3)高野台新病院の整備	開院	基本設計	実施設計(完了)	工事	工事	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるスケジュールの遅延
	設備整備費補助 利子補給	—	—	—	—	—	
(4)新たな病院整備の検討	関係機関との 調整・協議	調整・協議	調整・協議	調整・協議	調整・協議	A	
2　在宅医療の提供体制の充実							
	練馬区医師会による医療連携・在宅医療サポートセンターの開設	関係機関調整	関係機関調整	開設準備	開設準備	A	

戦略計画10　みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　地域で取り組む健康づくり							
(1)みどり健康プロジェクトの実施	①練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」						
	コンテンツの充実	検討	充実	充実	充実	A	
	登録人数 20,000人	登録人数 8,300人	12,545人	16,500人	16,434人	A	
	② 健康キャンペーンの充実	実施	充実	充実	充実	A	
(2)子どもの頃からの健康教育	がん予防教室の実施	検討	教材の作成・配布	がん予防教室の開始	未実施	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小した。
(3)こころの健康を支える地域づくり	自殺対策の推進						
	ゲートキーパー養成講座 計21回実施（受講者延べ1,050人）	年4回実施（受講者160人）	年7回実施（受講者295人）	年7回実施（受講者350人）	年4回実施（受講者151人）	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため一部中止、縮小した。
	相談窓口案内の周知	検討	作成・周知	周知	周知	A	
	支援者向け自殺予防の手引きの周知	検討	検討	作成・周知	作成・周知	A	
2　健診（検診）環境の充実							
	受診環境の整備	関係機関調整	関係機関調整 胃内視鏡検査受診場所の拡大(43か所)	関係機関調整 受診環境の整備	関係機関調整 受診環境の整備（胃内視鏡検査受診場所の拡大（47か所））	A	

Ⅳ　安全・快適、みどりあふれるまち

戦略計画11　地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　地震・火災に対する防災まちづくりの推進							
(1)木造住宅密集地域における道路・公園の整備と不燃化の推進	①江古田北部地区 道路整備　21工区 公園整備　9か所 密集事業終了 地区計画決定(一部)	道路整備　21工区 公園整備　9か所 密集事業終了 地区計画決定 （一部）	地区計画決定 （一部）	―	―	A	令和元年度に実施済み
	②北町地区 道路整備　12工区 公園整備　6か所 密集事業終了 地区計画決定(一部)	道路整備　11工区 公園整備　6か所 地区計画決定 （一部）	1工区 密集事業終了 地区計画決定 （一部）	―	―	A	令和元年度に実施済み
	③貫井・富士見台地区 地区計画決定(一部) 新防火規制区域の指定（一部） 1号線用地買収（一部） A路線用地買収（一部） 富士見台駅周辺交通施設関係機関調整	地区計画決定 （一部） 指定（一部） 新規路線選定 用地買収 検討	次期地区計画区域の選定 次期新防火規制区域の選定 測量 用地買収 検討	地区計画素案作成（一部） 測量 用地買収 検討	地区計画素案検討（一部） 測量 用地買収 検討	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、地区計画素案の検討地区におけるまちづくり検討会や個別訪問の延期など、地域住民への周知啓発、意向把握が予定どおりできなかった。
	④桜台地区 整備計画の策定 重点地区まちづくり計画決定	新規地区選定 ―	まちづくり協議会の準備会の開催 重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	整備計画の検討 重点地区まちづくり計画案の検討	まちづくり協議会の設立 整備計画の検討 重点地区まちづくり計画案の検討	A	令和元年度は合意形成活動を丁寧に進め、令和2年度にまちづくり協議会を設立した。

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
(2)防災まちづくり推進地区における改善事業	地区における改善事業の実施 新防火規制区域の指定	制度の検討 —	構築 事業地区の指定（3地区） —	周知・助成 区域指定に向けた合意形成	周知・助成 区域指定に向けた合意形成	A	
(3)建築物の耐震化	①特定緊急輸送道路沿道の耐震化 耐震化計画 98件/101件	耐震診断 平成27年度に101件全て終了 97/101件 実施設計　69件 耐震性有と判明　15件 除却　13件	2件 実施設計　2件	—	—	A	99件/101件　耐震化計画済み
	耐震化済 77件/101件	74/101件	6件	—	—	A	80件/101件　耐震化済み
	②一般緊急輸送道路沿道、災害時医療機関等、その他の耐震助成 耐震診断　計129件 実施設計　計　39件 耐震改修　計　19件	計 91件 計 14件 計　8件	21件 8件 5件	10件 7件 5件	3件 1件 13件	A+	前年度までの耐震診断、実施設計の実績を経て耐震改修件数が大幅に伸びた。
	③住宅の耐震助成 耐震診断　計915件 実施設計　計897件 耐震改修　計743件	計765件 計747件 計593件	31件 24件 21件	50件 50件 50件	16件 17件 25件	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、個別訪問などの周知啓発が予定どおり出来なかった。
(4)都市計画道路事業に合わせた延焼遮断帯の形成	防火地域の指定 （8地区）	指定 （放射7号線沿道、環状7号線沿道、補助134号線沿道等）	0地区	指定（3地区）	指定（2地区）	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
2　水害への対策（河川、下水道の早期整備および流域対策の強化）							
	①雨水貯留浸透施設設置 計25地区	計22地区	3地区工事	—	—	A	令和元年度で完了
	②水位観測カメラ設置 計14台	計13台	1台	—	—	A	令和元年度で完了
	③総合治水計画の改定と対策の実施	—	調査	検討 改定・実施	検討 改定・実施	A	
	④河川改修の早期実施・下水道幹線施設整備等の東京都への要請	改修率 石神井川　79% 白子川　25%	要請	要請	要請	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
3　地域危険度の啓発とリスクに即した訓練							
(1)地域別防災マップの作成・訓練の実施	3地域作成	1地域選定	1地域選定 1地域作成	1地域選定 1地域作成	1地域選定 1地域作成	A	
(2)避難行動要支援者の安否確認体制の強化	避難行動要支援者名簿を活用した訓練の実施	現況調査の実施 新たな名簿の作成	新たな名簿の配備	名簿の更新	名簿の更新	A	
			新たな名簿を活用した訓練の試行実施	訓練実施	訓練実施	A	
(3)防災の手引および浸水ハザードマップの全面改定・全戸配布	全面改定 全戸配布	—	改定 配布	—	—	A	令和元年度で完了
(4)備蓄物資の充実および倉庫整備	備蓄物資拡充 （避難拠点用） 食料等 計118,300人分	計93,100人分	8,400人分	8,400人分	8,400人分	A	
	組立トイレ 計103台配備	計35台	35台	33台	33台	A	
	備蓄物資拡充 （帰宅困難者用） 食料等 計84,880人分	計42,880人分	14,000人分	14,000人分	14,000人分	A	
	備蓄倉庫整備 計21か所	計19か所	1か所	1か所	2か所	A+	倉庫空白地域に新たな適地が見つかったため。
(5)ねりま防災カレッジ事業の充実	年間受講者数 1,005人	970人	646人	1,005人	608人	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、募集定員の減を行った。
	VRプログラムの実施・充実	—	導入準備	導入・開始	導入・開始・充実	A+	地震発生後の一連の避難行動を体系的に学び、体験できるようにするため、起震車のVRプログラム導入に加え、室内版VRプログラムの導入と充実を図った。
(6)区民防災組織等の取組支援	防災訓練年間参加者数 75,000人	72,000人	70,976人	74,000人	12,426人	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、①区民防災組織の訓練数が減少した。②主催事業の規模縮小・中止を行った。
関連する事業							
1　都市インフラの計画的更新							
	①橋梁 調査　計25橋 設計　計20橋 工事　計24橋	調査　計15橋 設計　計9橋 工事　計9橋	4橋 3橋 6橋	4橋 4橋 4橋	4橋 3橋 4橋	A	
	②公園遊具 更新　計227基	計170基	3基	32基	29基	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
	③公園灯・街路灯の省エネ化 公園灯 省エネ化 計1,847基 街路灯 省エネ化 計19,008基	 計1,127基 計10,308基	 278基 4772基	 240基 2,900基	 244基 3180基	A+ A+	灯具交換や灯柱建替ではなく、ランプ交換のみで完了した箇所が多かった。 水銀に関する水俣条約に早期対応するために補正予算を組み、計画を前倒しした。
	④道路陥没対策 桝取付管取替 計7,878か所 延長37,900m	 計4,878か所 延長22,900m	 983か所 延長4,300m	 1,000か所 延長5,000m	 970か所 延長4,700m	A	
	路面下空洞調査 延長約198km	路面下空洞調査 （延長約28km） 対象路線：緊急輸送道路 道路占用企業者との路面下空洞復旧に関する覚書締結	効率的な手法の検討	調査 （延長約96km） 対象路線：バス路線	調査 （延長約100km） 対象路線：バス路線	A	

2　地域の安全対策の推進

	①地域防犯防火連携組織 計39組織	計30組織	設立無し	３組織設立	設立無し	B	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、小学校、PTAおよび青少年地区委員会が地域防犯防火連携組織設立に向けた協議を行う場を設けることができず、設立には至らなかった。
	②防犯カメラ設置 新規160台 （計887台） 更新60台	計727台	新規156台 更新0台	新規50台 更新20台	新規0台 更新8台	B	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、団体内での調整・意思決定をする機会が設けられなかったため、計画を下回った。

戦略計画１２　みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考

1　都市計画道路の整備

(1)都市計画道路の整備（区施行）	都市計画道路の整備 事業完了　１区間 事業中　　７区間						
	①補助132号線Ⅲ期 整備（一部）	設計 整備	設計 整備	設計 整備	設計 整備	＊	
	②補助135号線および補助232号線（大泉学園駅南側地区） 地区計画素案検討 事業認可（一部） 合意形成活動 生活再建支援事業	 有識者委員会による検討 合意形成活動 生活再建支援事業	 有識者委員会による検討・提言 合意形成活動 生活再建支援事業	 重点地区まちづくり計画案の検討 合意形成活動 測量 生活再建支援事業	 合意形成活動 生活再建支援事業	＊	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
(1)都市計画道路の整備（区施行）	③補助135号線（補助156号線交差部） 事業認可 用地買収（一部）	測量 設計	関係機関調整 設計	事業認可 用地買収 設計	事業認可申請 関係機関調整 設計	*	
	④補助135号線（補助230号線交差部） 事業認可 用地買収（一部）	測量 設計	事業認可申請 設計	用地買収	事業認可 用地買収	*	
	⑤補助135号線（青梅街道～新青梅街道間） 関係機関調整	—	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	*	
	⑥補助230号線（青梅街道～新青梅街道間） 設計	—	関係機関調整	測量	測量	*	
	⑦補助232号線 Ⅰ-2期 事業認可	関係機関調整	測量	設計	測量 設計	*	
	⑧補助235号線 整備（完了）	設計 整備	設計 整備	整備	整備	*	
	⑨区画街路1号線 整備（一部）	設計 整備	設計	設計 整備	設計 整備	*	
	⑩外環の2（上石神井駅交通広場） 用地買収（一部）	事業認可 設計	—	用地買収 設計	関係機関調整	*	国が行う地上権設定に時間を要しているため。
(2)外環道および外環の２沿道地区のまちづくりと外環の２の整備促進	①沿道のまちづくり						
	＜外環道大泉JCT周辺地区＞ 地区計画原案作成	事業手法検討	地区計画素案検討	地区計画素案作成	地区計画素案検討	B	計画策定を丁寧に進めているため。
	＜外環の2沿道（新青梅街道～前原交差点間）＞ 重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	まちづくり方針の検討	まちづくり方針の策定	重点地区まちづくり計画の手続きの準備	重点地区まちづくり計画の手続きの準備	A	
	＜外環の2沿道（上石神井駅周辺）＞【戦略計画13-1の再掲】 地区計画決定	事業手法検討	地区計画素案検討	地区計画原案作成	地区計画素案検討	B（再掲）	計画策定を丁寧に進めているため。
	＜外環道青梅街道IC周辺地区＞ 重点地区まちづくり計画決定	重点地区まちづくり計画の手続きの準備	重点地区まちづくり計画の手続きの準備	重点地区まちづくり計画案の検討	重点地区まちづくり計画の手続きの準備	B	地域の方々とのまちづくりの検討を進める協議が整わないため。
	②外環の2整備促進						
	＜千川通り～新青梅街道間＞ 整備促進	事業認可（都）	整備促進	整備促進	整備促進	A	
	＜その他区間＞ 事業化に向けた働きかけ	働きかけ	働きかけ	働きかけ	働きかけ	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
(3)放射35号線沿道地区および放射36号線沿道地区のまちづくり	①放射35号線沿道						
	＜沿道周辺北町地区＞ 地区計画決定	地区計画素案作成	地区計画原案作成	地区計画決定	地区計画決定	A	
	＜平和台駅周辺地区＞ 地区計画決定（一部）	地区計画決定（一部）	地区計画素案検討（一部）	地区計画原案作成(一部)	地区計画原案検討（一部）	B	東京都との協議・調整に時間を要したため。
	＜環状8号線横断地下通路＞ 整備（一部）	関係機関調整	設計	整備	関係機関協議	B	関係機関との協議・調整に時間を要しているため。
	＜平和台駅周辺交通施設＞ 関係機関調整	検討	検討	検討	検討	A	
	②放射36号線沿道						
	＜沿道周辺地区＞ 地区計画決定（一部）	重点地区まちづくり計画案の作成	重点地区まちづくり計画決定 地区計画素案検討（一部）	地区計画原案作成（一部）	地区計画素案検討（一部）	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、検討会の開催回数の減および開催時期を延期した。
	＜氷川台駅周辺交通施設＞ 関係機関調整	検討	検討	検討	検討	A	
(4)補助156号線沿道等のまちづくり	①補助156号線沿道のまちづくり 重点地区まちづくり計画決定	重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	まちづくり協議会の設立 重点地区まちづくり計画案の検討	重点地区まちづくり計画案の作成	重点地区まちづくり計画案の検討	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、まちづくり協議会の開催回数の減および開催時期を延期した。
	②保谷駅前地区のまちづくり 都道沿道の街並みルールの策定	都道沿道の街並み検討	都道沿道の街並みルールの策定	―	―	A	令和元年度に策定済み
2　西武新宿線の立体化							
	立体化の促進	促進	促進	促進	促進	A	
	鉄道付属街路等の事業着手に向けた準備	都市計画原案作成	都市計画案作成	都市計画決定	都市計画決定に向けた準備	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、都市計画案説明会を延期した。
	促進協議会運営	促進協議会による要請活動	運営	運営	運営	A	
	沿線区市とまちづくりの取組等について連携・協議	連携・協議	連携・協議	連携・協議	連携・協議	A	
3　大江戸線の延伸							
	諸手続の促進	促進	促進	促進	促進	A	
	促進活動	促進活動	促進活動	促進活動	促進活動	A	
	大江戸線延伸推進基金 計50億円	計43億円	7億円積立 （計50億円）	検討	検討	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　みどりバス再編等による公共交通空白地域改善の推進							
	みどりバスの再編(保谷・関町・大泉・南大泉ルート)	再編に向けた調整（保谷・大泉・南大泉ルート）	再編に向けた調整（保谷・大泉・南大泉 ルート）	再編に向けた調整(保谷・関町・大泉・南大泉ルート)	再編に向けた調整(保谷・関町・大泉・南大泉ルート)	A	
	みどりバスの運行本数の一部増便	検討	検討	増便	検討	B	バスの運転手不足などの課題が解消されないため、増便には至らなかった。
	みどりバス停留所の新設	新設	新設	新設	新設	A	
	既存路線バスの再編等に向けた検討	検討	検討	検討	検討	A	
関連する事業							
1　生活幹線道路の整備							
	生活幹線道路の整備 事業完了　1区間 事業中　　5区間						
	(1)練馬主要区道3号線 事業区域決定（1工区）（2工区） 用地買収（一部）	測量	事業区域決定（1工区） 測量 事業区域決定（2工区）	用地買収	用地買収 設計	*	
	(2)練馬一般区道22-101号線3工区および練馬主要区道39号線 用地買収（一部） 整備（一部）	用地買収 関係機関調整 設計	用地買収 整備	用地買収	用地買収	*	
	(3)練馬主要区道30号線 関係機関調整	整備（一部）	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	*	
	(4)練馬主要区道32号線 整備（一部）	整備	整備	設計 整備	整備	*	
	(5)練馬主要区道56号線 用地買収 整備（一部）	用地買収 設計 整備	整備	用地買収 整備	整備	*	
	(6)練馬主要区道67号線 用地買収 整備（完了）	用地買収 整備	用地買収 整備	整備	整備	*	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
2　自転車駐車場の整備							
	①自転車駐車場整備						
	平和台駅地下	整備	整備（1,860台）	―	―	A	令和元年度に整備済み
	平和台駅地上	概略設計	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	A	
	氷川台駅第九	整備	整備（500台）	―	―	A	令和元年度に整備済み
	氷川台駅周辺	事業手法検討	事業手法検討	関係機関調整	関係機関調整	A	
	光が丘	設計	改修整備	改修整備	改修整備	A	
	②自転車ﾗｯｸ等改修 改修　計41か所	計33か所	7か所	1か所	1か所	A	
3　自転車レーンの整備							
	関係機関への働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	A	
	整備内容の検討・調整	検討・調整	検討・調整	検討・調整	検討・調整	A	
	補助132号線Ⅰ・Ⅱ期への自転車走行空間の設置	―	―	設置	設置	A	
	補助132号線Ⅲ期への自転車走行空間の設置	―	―	設置	設置	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　無電柱化の推進							
	無電柱化 【事業完了】11路線 〔延長2,841m〕 【事業中】13路線	【事業完了】9路線 〔延長2,161m〕 【事業中】 10路線					
	道路新設等に伴い無電柱化する路線						
	①補助132号線Ⅲ期 整備（一部）		設計 整備	設計 整備	設計 整備	＊	
	②補助135号線 （補助156号線交差部） 事業認可 用地買収（一部）		―	事業認可 用地買収 設計	事業認可申請 関係機関調整 設計	＊	
	③補助135号線 （補助230号線交差部） 事業認可 用地買収（一部）		事業認可申請 設計	用地買収	事業認可 用地買収	＊	
	④補助232号線 Ⅰ-2期 事業認可		―	―	―	―	
	⑤補助235号線 整備（完了）		設計 整備	整備	整備	＊	
	⑥区画街路1号線 設計		―	―	―	―	
	⑦外環の2（上石神井駅交通広場） 用地買収（一部）		―	用地買収 設計	関係機関調整	＊	
	⑧主要区道2号線 （貫井・富士見台地区A路線）【戦略計画11-1の再掲】 用地買収（一部）		用地買収	用地買収	用地買収	＊ （再掲）	
	⑨主要区道3号線 事業区域決定 用地買収（一部）		事業区域決定	用地買収	用地買収 設計	＊	
	⑩主要区道32号線 整備（一部）		整備	設計 整備	整備	＊	
	⑪主要区道56号線 用地買収 整備（一部）		整備	用地買収 整備	整備	＊	
	⑫主要区道67号線 用地買収 整備（完了）		用地買収 整備	整備	整備	＊	
	既存道路を無電柱化する路線						
	⑬補助235号線 路線指定 整備（一部）		設計 路線指定	整備	整備	＊	
	⑭補助237号線 設計		―	―	―	―	
	⑮補助301号線 設計 路線指定		―	設計	設計	＊	
	⑯主要区道6号線 （Ⅰ期） 整備（一部）		整備	整備	整備	＊	
	⑰石神井公園駅南口商店街通りの整備【戦略計画13-3の再掲】 設計		―	―	―	― （再掲）	

戦略計画13　魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　西武新宿線沿線まちづくり							
(1)上石神井駅周辺地区のまちづくり	①駅前のまちづくり 事業計画検討	事業手法検討	事業計画検討	事業計画検討	事業計画検討	A	
	②外環の2沿道まちづくり 地区計画決定	事業手法検討	地区計画素案検討	地区計画原案作成	地区計画素案検討	B	計画策定を丁寧に進めているため。
	③交通広場の整備【戦略計画12-1の再掲】 用地買収（一部）	事業認可 設計	―	用地買収 設計	関係機関調整	＊ （再掲）	国が行う地上権設定に時間を要しているため。
(2)武蔵関駅周辺地区のまちづくり	①駅周辺のまちづくり 地区計画原案作成 建築物共同化検討	整備計画策定	地区計画素案検討 検討	地区計画素案作成 検討	地区計画素案検討 検討	B	計画策定を丁寧に進めているため。
	②交通広場の整備 事業着手に向けた準備 設計	都市計画原案作成	都市計画案作成	都市計画決定 測量	都市計画決定に向けた準備	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、都市計画案説明会を延期した。
	③補助230号線（青梅街道～新青梅街道間）【戦略計画12-1の再掲】 設計	―	関係機関調整	測量	測量	＊ （再掲）	
(3)上井草駅周辺地区のまちづくり	下石神井四丁目地区のまちづくり 事業計画検討 杉並区との調整	整備計画策定 調整	事業手法検討 調整	事業計画検討 調整	事業計画検討 調整	A	
2　大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり							
	①地区計画決定						
	〈大泉町二丁目地区〉 地区計画決定	まちづくり計画の検討	地区計画素案検討	地区計画原案作成 地区計画決定	地区計画素案検討	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、協議会等を延期した。
	〈大泉学園町地区〉 地区計画決定	地区計画素案作成	地区計画素案作成	―	地区計画原案作成	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、協議会等を延期した。
	〈補助233号線沿道地区〉 地区計画決定	重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	重点地区まちづくり計画案の検討	重点地区まちづくり計画決定 地区計画素案作成	重点地区まちづくり計画案の検討	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、協議会等を延期した。
	②（仮称）大泉学園町駅予定地周辺のまちづくり 事業計画作成	整備計画検討	事業手法検討	事業手法決定 事業計画検討	事業手法検討	B	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、権利者との勉強会を延期した。
	③補助135号線（補助230号線交差部）【戦略計画12-1の再掲】 事業認可 用地買収（一部）	測量 設計	事業認可申請 設計	用地買収	事業認可 用地買収	＊ （再掲）	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
3　地域の拠点である駅周辺のまちづくり							
(1)石神井公園駅周辺地区のまちづくり	①南口西地区市街地再開発事業 事業認可	合意形成活動	都市計画素案作成	都市計画原案作成 都市計画決定	都市計画原案作成 都市計画決定	A	
	②補助132号線沿道周辺地区 地区計画変更決定	地区計画変更素案検討	地区計画変更素案作成	—	地区計画変更原案作成 地区計画変更決定	A	令和元年度に、関係機関とスケジュールを調整し、地区計画変更の手続きを再開発事業と同時に行うこととしたため。
	③商店街通りの整備 街並み整備計画の策定 無電柱化の設計	街並み整備の検討 合意形成活動	街並み整備と無電柱化の検討	街並み整備計画の策定	街並み整備と無電柱化の意向確認	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
	④補助132号線Ⅲ期【戦略計画12-1の再掲】 整備（一部）	設計 整備	設計 整備	設計 整備	設計 整備	＊ （再掲）	
	⑤補助232号線Ⅰ-2期【戦略計画12-1の再掲】 事業認可	関係機関調整	測量	設計	測量 設計	＊ （再掲）	
4　鉄道駅や周辺のバリアフリーの充実							
(1)駅における2ルート目のバリアフリー化された経路の確保	①光が丘駅 エレベーター整備に向けた調整 エスカレーターの整備（完了） スロープ等の整備（完了）	鉄道事業者等との協議 検討 検討	協議 設計 設計	協議 整備 整備	協議 設計（実施設計） 設計（実施設計）	B	関係者との調整を丁寧に進めているため。
	②小竹向原駅 エレベーター整備に向けた調整	鉄道事業者等との協議	協議	エレベーター整備に向けた調整	協議	B	鉄道事業者と協議継続中のため。
(2)公共施設と駅を結ぶルートのバリアフリー化	改善方針に基づくバリアフリー化の推進	ガイドライン策定 ルートの選定および改善方針の策定	改善方針に基づくバリアフリー化の推進 （モデル事業1地区）	推進	推進	A	
5　まちづくり条例の改正							
	まちづくり条例の改正・運用	—	改正	運用	運用	A	

戦略計画14　練馬のみどりを未来へつなぐ

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　みどりのネットワークの形成							
(1)みどりの拠点づくりを進める長期プロジェクト	稲荷山公園 事業説明会の開催 測量	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム作成	関係機関調整	関係機関調整 稲荷山公園基本計画（素案）作成	A	
	大泉井頭公園 関係機関調整	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム作成	関係機関調整	関係機関調整	A	
(2)練馬城址公園をにぎわいの拠点に	公園整備に向けた東京都との調整	調整	調整	調整	覚書の締結 整備計画 （中間のまとめ） の公表	A	
(3)特色ある公園等の整備	整備完了　6か所 新設　1か所 拡張　2か所 改修　3か所						
	新設　3か所						
	①(仮称)上石神井三丁目公園	用地買収 設計	整備	—	—	A	令和元年度に整備済み
	②(仮称)石神井台六丁目緑地	—	—	—	—	—	
	③(仮称)大泉学園町六丁目公園	—	—	—	—	—	
	拡張　5か所						
	④大泉学園町希望が丘公園	設計	設計 整備	整備	整備	A	
	⑤こどもの森緑地	—	事業認可 用地買収 設計	整備	整備	A	
	⑥こぐれの森緑地	—	—	事業認可	延期	B	新型コロナウィルスの影響による緊急対応のため、事業の見直しを行った。
	⑦北原公園	—	—	事業認可	延期	B	新型コロナウィルスの影響による緊急対応のため、事業の見直しを行った。
	⑧石神井松の風文化公園	—	—	—	—	—	
	改修　4か所						
	⑨四季の香公園（西欧庭園区域）四季の香ローズガーデン拡充	事業認可 設計	設計	整備	整備	A	
	⑩田柄川緑道（放射35号線交差部）	—	設計	設計	設計	A	
	⑪和田堀緑道	—	—	設計	設計	A	
	⑫豊玉中いっちょうめ公園	設計	整備	—	—	A	令和元年度に整備済み
(4)都市インフラの整備におけるみどりの創出	都市インフラの整備に合わせたみどりの創出	関係機関への働きかけ・調整 ・放射35・36号線 ・外環の2　など ・石神井川河川改修	働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	A	
		整備内容の検討・調整 ・主要区道67号線 ・区画街路1号線	検討・調整 ・補助235号線 ・主要区道56号線	検討・調整 ・補助132号線	検討・調整 ・補助132号線	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
(5)重要な樹林地の保全	合意形成活動 都市計画決定 計7か所	合意形成活動 計3か所	合意形成活動 1か所	合意形成活動 2か所	合意形成活動 都市計画手続き開始2か所	B	合意形成が整った箇所について都市計画手続きを開始したが、告示は令和3年度に実施 （令和3年4月と令和3年6月）
(6)みどりの美しい街並みづくり	①緑化取組 計15か所	計10か所	1か所	2か所	2か所	A	
	②サクラ並木の維持 外観診断183本 精密診断55本 更新　計63本	更新　計48本	外観診断203本 精密診断61本 更新13本	5本	更新6本	A+	不健全との診断を受けた樹木を早急に更新したため
2　みどりを育むムーブメントの輪を広げる							
	①テーマ別みどりの区民会議	開催	開催	開催	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	②個人のみどりを地域で守る仕組みの構築	事業内容の検討	モデル事業実施	モデル事業実施	調査・モデル事業案の作成	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	③公園の区民管理の拡充 区民管理 23団体・31か所	関係団体への働きかけ 区民管理 20団体・27か所	働きかけ 区民管理開始 2団体・3か所	働きかけ 区民管理開始 1団体・1か所	働きかけ 区民管理開始 1団体・1か所	A	
	④憩いの森の区民管理の拡充 区民管理2か所	育成事業2か所	区民管理開始 1か所 育成事業1か所	育成事業2か所	育成事業2か所	A	
	⑤みどりを守り育てる人材や団体の育成、マッチング	―	仕組みの構築	実施	実施	A	
	⑥新たな基金の運用	仕組み構築 募集メニューの検討	寄付募集	募集 基金の活用 体験事業の実施	募集 基金の活用 体験事業の実施	A	

戦略計画15　住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　自立分散型エネルギー社会に向けた取組の推進							
	①避難拠点でのEV(電気自動車)等の活用 「災害時協力登録車制度」登録者増	「災害時協力登録車制度」の創設 EV販売事業者と「災害時における電気自動車からの電力供給の協力に関する協定」締結	周知	周知	周知	A	
	EVを活用した訓練の実施		実施	実施	実施	A	
	全ての医療救護所にV2Lを配備 計10か所	計7か所	3か所	—	—	A	令和元年度に配備済み
	②区立小中学校（避難拠点）への太陽光発電設備等の導入 計14か所	計12か所	—	2か所	2か所	A	
	③地域コジェネレーションの導入 順天堂練馬病院に導入 練馬光が丘病院に導入	基本協定締結 調整	導入準備 基本協定締結	導入 導入準備	導入 導入準備	A	

Ⅴ　いきいきと心豊かに暮らせるまち

戦略計画16　地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　創業への総合的な支援の充実							
	①創業セミナー・創業支援融資の実施	創業セミナーの実施	実施	実施	実施	A	
		創業支援融資の実施	実施	実施	実施	A	
	②学生向け創業セミナー等の実施	—	中止	実施	実施	A	
	③空き店舗入居促進事業の実施	空き店舗入居促進事業の実施	実施	実施	実施	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
2　販路拡大など企業活動の活性化							
	①企業間交流の活性化、販路拡大支援の実施	産業見本市の実施	実施	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
		商談交流会の開始	中止	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	②産学連携セミナーの実施	―	産学連携セミナーの開始	実施	実施	A	
	③福祉・生活関連産業への支援の実施	セミナー・個別相談会の実施	実施	実施	実施	A	
		専門アドバイザー派遣の開始	実施	実施	実施	A	
	④事業承継支援の実施	セミナー・個別相談会の実施	実施	実施	実施	A	
		専門アドバイザー派遣の開始	実施	実施	実施	A	
3　商店街や個店の魅力づくり							
	①お客が集まる個店づくり						
	まちゼミ支援の実施	実施	実施	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	個店連携支援の実施	実施	実施	実施	実施	A	
	店舗改修支援の実施	実施	実施	実施	実施	A	
	②特色ある取組を行う商店街への支援の実施	実施	実施	実施	実施	A	
	③商店街の魅力発信支援事業の実施	開始	実施	実施	実施	A	

戦略計画17　生きた農と共存する都市農業のまち練馬

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　世界都市農業サミットの開催							
	世界都市農業サミット開催	プレイベント開催	世界都市農業サミット開催	―	―	A	令和元年度に開催済み
2　都市農地の保全に向けた取組の推進							
	①生産緑地貸借制度を活用した農地保全	農地所有者意向調査の実施 農地斡旋の仕組みの検討	農地斡旋の開始	実施	実施	A	
	②特定生産緑地の周知・指定	周知・調整	周知・調整	周知・指定	周知・指定	A	
	③農地を守る新たな仕組みづくりの検討	―	調査・検討	国・都との調整	国・都との調整	A	
	④制度改正に向けた取組の推進	要望・実現	国への要望活動	国への要望活動	国への要望活動	A	
3　都市農業経営の支援							
①	認定農業者・都市型認定農業者の新規認定 31経営体	22経営体	4経営体	3経営体	4経営体	A+	様々な支援策実施の結果、経営改善に取り組む農業者が当初の想定よりも増加したため。
①	認定農業者・都市型認定農業者への支援の充実	―	検討	充実	充実	A	
②	生産緑地貸借制度を活用した農地保全【戦略計画17-2の再掲】	農地所有者意向調査の実施 農地斡旋の仕組みの検討	農地斡旋の開始	実施	実施	A （再掲）	
②	農の学校 コース内容の見直し	4コース運営	検討	検討	検討	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　区民が農に親しむ取組の充実							
	①（仮称）農の風景公園の整備	基本構想策定	設計	設計 整備	設計 整備（一部）	B	雑草対策のため、圃場整備工事は令和3年7月末まで実施
	②新鮮な農作物を手に入れる、農を気軽に体験できる環境整備						
	区主催マルシェ実施	実施	ねりマルシェin 世界都市農業サミット 実施	実施	開催中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	農業者等主催マルシェの支援 実施場所 3か所増	10か所実施	1か所増	1か所増	1か所増	A	
	練馬果樹あるファームの開設等支援　17件 情報発信	摘み取り園38園 直売所　51か所 実施	11件 充実	5件 充実	7件 充実	A+	様々な支援策実施の結果、事業に賛同し取り組む農業者が当初の想定よりも増加したため。
	③生産緑地の貸借制度等を活用した区民農園の整備 ２園整備	整備方針の検討	整備方針の検討 1園整備	候補地検討	2園整備	A+	生産緑地貸借制度を周知した結果、制度を活用して区民農園にしたいという農地所有者があったため。 （1園新設・1園拡張）
	④農と福祉の連携						
	農福連携作業に携わる障害者施設数計9施設 【戦略計画7-2の再掲】	計6施設	1施設増	1施設増	4施設増	A+ （再掲）	新たに共同受注の仕組みを整えたことにより、農家と障害者施設のマッチングが進んだため。
	福祉連携農園の検討 【戦略計画7-2の再掲】	—	検討	検討	検討	A （再掲）	
	⑤農を活用した高齢者の健康づくり	—	検討	検討	検討	A	

戦略計画18　練馬ならではの都市文化を楽しめるまち

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　練馬独自の新しい美術館の創造							
	再整備基本構想に基づく設計	構想の検討	構想の検討 （委員会提言）	設計	構想の検討	B	新型コロナウイルス感染症の影響により基本構想策定時期をさらに令和3年度に延期した。

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
2　四季を感じ、誰もが楽しめる年中行事を開催							
	四季を感じられるイベントの開催	真夏の音楽会の実施	実施	充実	充実	A	
		花火フェスタの実施	実施	実施	中止（終了）	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止 としまえんの閉園に伴い事業終了
		練馬薪能の実施	実施	実施	実施	A	
		Nerimaユニバーサルコンサートの実施	実施	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	区民自らが参加して楽しむ事業の実施	郷土芸能ねりま座の実施	実施	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
		ジャズイベントの実施	実施	実施	実施	A	
		こどもアートアドベンチャーの実施	実施	実施	実施	A	
		区民文化祭の実施	実施	実施	実施	A	
3　ねりまの歴史を活かした映像文化のまちづくり							
	「映像文化のまち構想」策定 映像文化イベントの実施	検討	素案の公表 検討	実施	構想策定の延期 実施（内容変更）	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、構想の策定を延期 構想の策定時期を延期したことにより、映像文化イベントを実施しなかったため。
4　練馬の魅力を効果的に発信							
	練馬の魅力の発信	世界都市農業サミットプレイベント開催【戦略計画17-1の再掲】	世界都市農業サミット開催	―	―	A（再掲）	令和元年度に開催済み
		体験型ツアーの実施	充実	充実	充実	A	
		新たな情報マップの作成	充実	充実	充実	A	
	無料公衆無線LANの整備 計32か所	計4か所	28か所増	―	―	A	令和元年度で完了

戦略計画19　豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　練馬区初　公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」							
	練馬総合運動場公園での事業展開	開園式典、記念イベント開催	公認記録会の開催	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
2　区民ニーズを踏まえたスポーツ施設の整備							
	① 大泉さくら運動公園庭球場等 整備	設計	整備	—	—	A	令和元年度に整備済み
	② 大泉学園町希望が丘公園運動場（第Ⅱ期） 整備	設計	設計 整備	整備	整備	A	
	③総合体育館						
	改築に向けた検討	検討	検討	検討	検討	＊	効率的な整備方法など、様々な視点で引き続き検討が必要
	空調機の設置	—	設置	—	—	A	令和元年度に設置済み
	④ 光が丘体育館 アリーナ床等改修	検討	設計	工事	工事	A	
3　ユニバーサルスポーツフェスティバルの充実							
	ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開 計6か所	計3か所	0か所	1か所増	0か所	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	障害者スポーツ指導員の確保・育成	検討・一部実施	実施	実施	実施	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
4　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組							
①区民や関係団体との協働による取組							
	関係団体との情報共有・意見交換	実施	実施	実施	実施	A	
	応援プログラムへの参加促進	実施	実施	実施	実施	A	
	練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクトの実施	開始	実施（第１弾の公表・活用）	実施（第２弾の公表・活用）	実施（第２弾の公表・活用）	A	
②効果的な機運醸成事業の実施							
	注目を集めるタイミングに合わせた事業実施	２年前事業 500日前事業	１年前事業 世界都市農業サミット連動事業	100日前事業 聖火リレー 大会期間中事業	200日前事業	B	東京2020大会が延期になったため、聖火リレーおよび大会期間中事業は延期。100日前事業は200日前事業として実施
	集客が見込める既存イベントでの出展	実施	実施	実施	実施	A	
③各施策の充実と連動させた機運醸成の取組							
	ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開　計6か所【戦略計画19-3の再掲】	計3か所	0か所	1か所増	0か所	B（再掲）	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
	世界都市農業サミット開催【戦略計画17-1の再掲】	プレイベント開催	世界都市農業サミット開催	―	―	A（再掲）	令和元年度に開催済み
	ねりまワールドフェスティバルの実施	国際交流のつどいワールドマーケット実施	ねりまワールドフェスティバルの実施	実施	中止	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

Ⅵ　区民とともに区政を進める

戦略計画20　区民協働による住民自治の創造

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　町会・自治会の活性化							
	町会・自治会組織の基盤強化	加入促進活動の実施	実施	実施	実施（一部中止）	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地区祭等イベントが開催されなかったことで、加入促進を一部中止
2　協働の取組の活性化							
(1) 相談情報ひろばの増設	相談情報ひろば　計14か所	計10か所	開設無し	―	開設無し	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ひろばの増設が計画通りにいかなかった。

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
(2) パワーアップカレッジねりまのリニューアル	パワーアップカレッジねりまのリニューアル	開始準備	開始準備	開始	開始	A	
3　地域おこしプロジェクトの充実							
	地域おこしプロジェクトの支援内容の充実	検討	検討	充実	充実	A	

戦略計画21　窓口から区役所を変える

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度 当初計画	令和2年度 実績	進捗状況	備　考
1　窓口から区役所を変える							
(1)「待たない」	①区役所に行かなくても、自宅や近所で手続きができます						
	（ア）電子申請の拡大　乳幼児一時預かり事業インターネット予約システム運用開始【戦略計画1-1の再掲】	検討	構築	運用開始	運用開始	A（再掲）	
	（ア）電子申請の拡大　保育園入園申請のオンライン手続きの導入検討【戦略計画1-6の再掲】	検討	検討	検討	検討	A（再掲）	
	（ア）電子申請の拡大　全庁的な電子申請の推進	調査・検討	実施	拡大	拡大	A	
	(イ)電子決済方法の多様化	システム改修（住民税・軽自動車税）	運用開始（住民税・軽自動車税）	拡大検討	システム改修・運用開始（国民健康保険料）	A+	国民健康保険料の電子決済を拡大したため。
	②来庁前に、窓口の混雑状況が分かり、事前に準備ができます						
	窓口情報提供システムの拡大 計17か所	1か所（保育課入園相談係）	16か所導入（練馬区民事務所ほか）	—	1か所導入（マイナンバーカード交付窓口）	A+	新たにマイナンバー交付窓口に導入(計18か所)
	自宅で印刷できる申請書類の範囲拡大	—	実施	拡大	拡大	A	

取組名	令和３年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度末の実績	令和2年度		進捗状況	備　考
				当初計画	実績		
(2)「まごつかない」案内が正確・迅速に行われます	フロアマネージャーのサービス内容の充実（区民事務所6か所）	検討	充実	—	充実	A+	外国人対応強化のため、フロアマネージャーの多言語化対応を図った。
	フロアマネージャーの常時配置（区民事務所3か所）	2か所（練馬・石神井区民事務所）	1か所（光が丘区民事務所）	—	1か所（大泉区民事務所）	A+	新たに大泉区民事務所に常時配置（区民事務所4か所）
	FAQの職員活用	検討	開始	実施	実施	A	
	窓口対応力向上研修の充実	—	充実	充実	一部実施	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ワークショップ型研修は中止
(3)「何度も書かない」複数の申請書が一括して作成できます	申請書一括作成システムの導入（区民事務所6か所）	検討	構築	導入（区民事務所6か所）	導入（区民事務所6か所）	A	
(4)事務処理ミスの防止	事務処理の見直し	検討	実施	実施	実施	A	

参考

第２次みどりの風吹くまちビジョンとＳＤＧｓ

ＳＤＧｓとは、平成27年（2015年）９月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略であり、令和12（2030）年を年限とする国際目標です。ＳＤＧｓは、持続可能な世界を実現するための17 のゴールから構成され、先進国を含む全ての国々の共通目標となっています。

国は、地方自治体に対し、ＳＤＧｓを原動力とした地方創生の推進を求めており、区としては、第２次みどりの風吹くまちビジョンを中心にあらゆる施策を通して取り組んでいます。

ＳＤＧｓに掲げる１７のゴール

１　貧困をなくそう
　あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

２　飢餓をゼロに
　飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

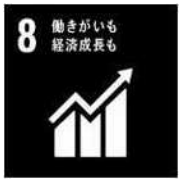
３　すべての人に健康と福祉を
　あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

４　質の高い教育をみんなに
　すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

５　ジェンダー平等を実現しよう
　ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

６　安全な水とトイレを世界中に
　すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

７　エネルギーをみんなにそしてクリーンに
　すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



８　働きがいも経済成長も
　包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。

９　産業と技術革新の基盤をつくろう
　強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

10　人や国の不平等をなくそう
　各国内及び各国間の不平等を是正する。

11　住み続けられるまちづくりを
　包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

12　つくる責任つかう責任
　持続可能な生産消費形態を確保する。

13　気候変動に具体的な対策を
　気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

14　海の豊かさを守ろう
　持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。

15　陸の豊かさも守ろう
　陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

16　平和と公正をすべての人に
　持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

17　パートナーシップで目標を達成しよう
　持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

資　料　2

令和３年９月１７日
こども家庭部こども施策企画課

第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画の実施状況（令和２年度）について

区は、「第２次みどりの風吹くまちビジョン」の子育て分野に関連する個別計画として、令和２年３月に「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画（令和２～６年度)」を策定した。本計画は、子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画としても位置付けている。

今回、令和２年度の実施状況を取りまとめたので、報告する。

１　令和２年度　実施状況
　別紙のとおり

別　紙

第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画　実施状況（令和2年度）

1　子どもと子育て家庭の支援の充実

（1）妊婦健康診査

		単位	(参考)令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	6,243	5,896	5,852	5,830	5,802	5,778
		回	71,760	65,856	65,366	65,122	64,810	64,543
②【目標】供給量		ー	○実施場所 …都内契約医療機関等 ○検査項目 …体重、血圧、尿、その他医学的検査 ○実施回数および実施時期 …14回（妊娠週数に応じて実施）					
③利用実績		人	5,677	5,361				
		回	65,855	61,642				
達成率	対　①需要量見込み	ー	90.9%	90.9%				
		ー	91.8%	93.6%				
	対　②【目標】供給量	ー	ー	ー				
		ー	ー	ー				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み（人）	92.8%
	対　①需要量見込み（回）	95.5%

主管課：健康推進課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
新型コロナウイルス感染症に警戒しながらではあったが、タクシー券として使えるこども商品券の配付もされ必要な妊婦健診は受診したものと思われる。
対象者の受診率は96.1%となっている。

（今後の取組と方向性）
継続して実施していく。

（2）こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）

		単位	(参考)令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	5,735	5,468	5,447	5,460	5,479	5,485
②【目標】供給量		ー	○実施体制 …①配慮が必要な家庭：常勤保健師が訪問指導 ②上記以外の家庭：委託助産師等が訪問指導 ○委託助産師数 …年間約130家庭に対し1名の割合で配置					
③訪問実績		人	5,389	4,393				
達成率	対　①需要量見込み	ー	94.0%	80.3%				
	対　②【目標】供給量	ー	－	－				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	80.1%
	対　②【目標】供給量	ー

主管課：健康推進課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
出生数は減少傾向にあり、訪問事業も少なかった。訪問率（訪問実数/訪問対象者数）は83.0%となっている。

（今後の取組と方向性）
新型コロナウイルス感染症による影響を受けながら育児をする家庭への訪問は重要と考える。継続して実施していく。

（3）妊娠・子育て相談員、すくすくアドバイザー（利用者支援事業）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		か所	12	12	12	12	12	12
②【目標】供給量（実施か所数）		か所	12	12	12	12	12	12
③【実績】供給量（実施か所数）		か所	12	12				
内訳	妊娠・子育て相談員	か所	7	7				
	すくすくアドバイザー	か所	5	5				
〔参考〕相談件数		件	11,815	10,510				
達成率	対　①需要量見込み	ー	100.0%	100.0%				
	対　②【目標】供給量	ー	100.0%	100.0%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	100.0%
	対　②【目標】供給量	100.0%

主管課：子育て支援課、練馬子ども家庭支援センター、健康推進課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

区役所および4か所の子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置し、子育てに関する「何でも相談」に対応している。子ども家庭支援センターでは、窓口での相談に加え、近隣施設での出張相談を実施するなど、より身近な場所で相談しやすい環境整備に取り組んだ。

妊娠・子育て相談員による妊娠届出時の面談実施率は99.3%となっている。

（今後の取組と方向性）

引き続き、区役所および4か所の子ども家庭支援センターに「すくすくアドバイザー」を配置し、子育てに関する「何でも相談」に対応する。

妊娠・子育て相談員による妊娠届出時の面談はその後の支援につながるもので、今後も継続して実施していく。

（「1　子どもと子育て家庭の支援の充実」における質的向上に関する評価）

利用者支援事業は、電話やメールによる相談の実施に加え、区ホームページやツイッターで発信を行うなど、広く区民へ事業の周知を図り、より相談しやすい環境の整備に努めている。

2 子どもの教育・保育の充実

（1）子育てのひろば（地域子育て支援拠点事業）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人回	310,776	304,640	305,884	308,492	306,263	304,660
②【目標】供給量（実施か所数）		か所	27	28	29	30	30	30
③【実績】供給量（実施か所数）		か所	27	27				
〔参考〕利用実績		人回	267,465	158,280				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	－	－				
	対 ②【目標】供給量	ー	100.0%	96.4%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	－
	対 ②【目標】供給量	90.0%

主管課：練馬子ども家庭支援センター

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

令和2年度は計画に基づき1か所開設したが、令和2年度末に1か所閉室したため、令和3年4月1日現在の実施か所数は26か所となる。

区立の子育てのひろばぴよぴよにおいては、大規模改修工事のため1施設が令和2年6月から令和3年6月まで休室した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月11日から5月31日まで臨時休室、令和2年6月1日から9月22日まで、および令和3年1月12日から3月21日までは入室人数制限を実施した。なお、令和2年5月からZOOMを利用したオンラインひろばを開始している。

民設子育てのひろばにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部期間において臨時休室および入室人数制限を実施した。

（今後の取組と方向性）

令和3年度は1か所開設予定であったが、区の緊急対応により延期している。令和4年度以降は、計画目標（30か所）達成に向け、引き続き開設していく。

（2）3号認定（0歳）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	1,524	1,563	1,587	1,618	1,636	1,640
②【目標】供給量（定員数）		人	1,575	1,626	1,677	1,720	1,764	1,769
③【実績】供給量（定員数）		人	1,552	1,616				
内訳	保育所	人	1,190	1,278				
	地域型保育事業	人	224	225				
	その他	人	138	113				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	101.8%	103.4%				
	対 ②【目標】供給量	ー	98.5%	99.4%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	98.5%
	対 ②【目標】供給量	91.4%

主管課：保育課

〔参考〕3号認定（0歳児） 令和3年4月1日時点の実績値

		単位	令和3年度
定員数		人	1,685
内訳	保育所	人	1,332
	地域型保育事業	人	217
	その他	人	136

（3）3号認定（1・2歳）

		単位	(参考)令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	6,345	6,517	6,732	6,983	7,040	7,045
②【目標】供給量（定員数）		人	6,572	6,878	7,029	7,135	7,303	7,338
③【実績】供給量（定員数）		人	6,627	6,885				
内訳	保育所	人	5,264	5,609				
	地域型保育事業	人	959	883				
	その他	人	404	393				
達成率	対　①需要量見込み	ー	104.4%	105.6%				
	対　②【目標】供給量	ー	100.8%	100.1%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	97.7%
	対　②【目標】供給量	93.8%

主管課：保育課

〔参考〕3号認定（1・2歳）　令和3年4月1日時点の実績値

		単位	令和3年度
定員数		人	7,078
内訳	保育所	人	5,733
	地域型保育事業	人	877
	その他	人	468

（4）2号認定（3～5歳）

		単位	(参考)令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	9,147	9,600	9,692	9,806	9,909	10,110
②【目標】供給量（定員数）		人	9,750	10,332	10,742	11,285	11,631	11,781
③【実績】供給量（定員数）		人	9,831	10,312				
内訳	保育所	人	8,306	8,714				
	地域型保育事業	人	14	27				
	練馬こども園	人	1,365	1,419				
	その他	人	146	152				
達成率	対　①需要量見込み	ー	107.5%	107.4%				
	対　②【目標】供給量	ー	100.8%	99.8%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	102.0%
	対　②【目標】供給量	87.5%

主管課：保育課

〔参考〕2号認定（3～5歳）　令和3年4月1日時点の実績値

		単位	令和3年度
定員数		人	10,814
内訳	保育所	人	9,153
	地域型保育事業	人	32
	練馬こども園	人	1,559
	その他	人	70

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
　区では、これまで待機児童対策として「待機児童ゼロ作戦」などにより全国トップクラスとなる定員増を行ってきた。令和3年4月においても認可保育所の新規整備等により764人の定員を拡大し、令和3年4月時点の待機児童数は区として初めて0人となった。

（今後の取組と方向性）
　待機児童ゼロを継続できるよう必要な供給量を確保するため、令和4年4月に向けて認可保育所を整備し、370人の定員を拡大する計画である。

（5）1号認定（3～5歳）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	10,011	9,341	9,108	8,916	8,850	8,909
②【目標】供給量（定員数）		人	11,197	10,822	10,822	10,822	10,822	10,822
③【実績】供給量（定員数）		人	10,867	10,762				
達成率	対　①需要量見込み	ー	108.6%	115.2%				
	対　②【目標】供給量	ー	97.1%	99.4%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	120.8%
	対　②【目標】供給量	99.4%

主管課：学務課

（6）幼稚園預かり保育

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人日	374,098	387,785	391,456	395,224	398,051	401,355
②【目標】供給量（定員数）		人日	490,946	548,761	553,261	557,761	557,761	557,761
③【実績】供給量（定員数）		人日	570,511	627,832				
〔参考〕利用実績		人日	267,746	276,307				
達成率	対　①需要量見込み	ー	152.5%	161.9%				
	対　②【目標】供給量	ー	116.2%	114.4%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	156.4%
	対　②【目標】供給量	112.6%

主管課：学務課、こども施策企画課

◎「練馬こども園」の実施状況

	単位	（参考）令和元年度	令和2年度
認定園数	園	20	22
定員数	人	1,365	1,429

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
　区独自の制度として、11時間の預かり保育（標準型）を行う私立幼稚園を、練馬型幼保一元化施設「練馬こども園」として認定し、拡大に取り組んでいる。
　令和元年度から、短時間型（9時間）および低年齢型（0～2歳児）を新たに創設し、さらなる拡大に努めている。令和2年度は、新たに2園を認定し、令和2年度末時点で22園認定（低年齢型2園のうち1園は標準型としている園と重複認定1園）。実園数は21園となった。

（今後の取組と方向性）
　保護者の就労形態やニーズの多様化に応えるため引き続き、各私立幼稚園と協議を重ね、練馬こども園の拡大に努めていく。

（7）一時預かり事業

（保育園一時預かり、乳幼児一時預かり、ファミリーサポート事業等）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人日	101,916	91,341	91,572	92,622	92,114	92,014
②【目標】供給量（定員数）		人日	117,717	115,372	115,372	115,372	115,372	115,372
③【実績】供給量（定員数）		人日	110,400	80,947				
〔参考〕利用実績		人日	56,793	35,779				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	108.3%	88.6%				
	対 ②【目標】供給量	ー	93.8%	70.2%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	88.0%
	対 ②【目標】供給量	70.2%

主管課：保育課、練馬子ども家庭支援センター

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

保育園一時預かり事業は、令和2年度の新規開設園はなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比較して利用実績が低くなった。特に区から保育園の登園自粛要請を行った4月から6月の実績が顕著に減少した。

乳幼児一時預かり事業は、令和2年度よりインターネット予約管理システムの運用を開始し利便性が向上した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月11日から5月27日までは強い利用自粛を要請し、5月28日から9月30日までは定員を5割に抑制し実施した。令和2年度の利用実績は延べ20,863件であり、令和元年度実績31,033件に対し、10,170件の減となる。

子どもトワイライトステイ（夜間一時保育事業）は、児童養護施設を含む3施設で実施しており、年間延べ448件の利用があった。

ファミリーサポート事業は、令和2年度より軽度障害児の受入を本格実施した。

（今後の取組と方向性）

保育園一時預かりについては、認可保育所の新規開設等により定員拡大を進めていく。

令和3年度から多胎児が同時にファミリーサポート事業を利用する場合に、1人分の料金で事業を利用することができる「多胎児ファミサポ利用券」を交付する多胎児ファミサポ利用券交付事業を開始している。

乳幼児一時預かり事業のキャッシュレス決済の導入や定員増について検討する。

（8）子どもショートステイ（子育て短期支援事業）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人日	959	2,157	2,143	2,121	2,106	2,111
②【目標】供給量（定員数）		人日	4,380	4,380	4,380	4,380	4,380	4,380
③【実績】供給量（定員数）		人日	4,380	5,100				
〔参考〕利用実績		人日	1,515	1,646				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	456.7%	236.4%				
	対 ②【目標】供給量	ー	100.0%	116.4%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	241.6%
	対 ②【目標】供給量	116.4%

主管課：練馬子ども家庭支援センター

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

令和3年1月より登録家庭による家庭型子どもショートステイ事業を開始した。

（今後の取組と方向性）

供給量（定員数）が需要量見込みや利用実績を上回る状況にあるが、要支援家庭の利用が全体の8割と高く、児童虐待対応で緊急的に使用することもあることから、引き続き定員拡大を検討する。

（9）延長保育事業

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	7,400	6,442	6,383	6,350	6,311	6,312
②【目標】供給量（定員数）		人	9,243	9,895	10,522	11,398	12,217	12,629
③【実績】供給量（定員数）		人	8,860	9,929				
〔参考〕利用登録実績（4月1日現在）		人	1,340	1,199				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	119.7%	154.1%				
	対 ②【目標】供給量	ー	95.9%	100.3%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	157.3%
	対 ②【目標】供給量	78.6%

主管課：保育課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
認可保育所の整備等に合わせて延長保育事業の定員拡大を進めた。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較して利用登録実績が減少した。

（今後の取組と方向性）
認可保育所の新規開設等により定員拡大を進めていく。

（10）病児・病後児保育事業

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人日	13,810	14,739	14,617	14,546	14,466	14,490
②【目標】供給量（定員数）		人日	16,120	16,640	16,640	16,640	16,640	16,640
③【実績】供給量（定員数）		人日	16,640	17,420				
〔参考〕利用実績		人日	8,046	2,348				
達成率	対 ①需要量見込み	ー	120.5%	118.2%				
	対 ②【目標】供給量	ー	103.2%	104.7%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	120.2%
	対 ②【目標】供給量	104.7%

主管課：保育課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）
令和2年4月から定員を3名増やし、前年度に比べ延べ利用定員が780人日分拡大した。
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用実績は前年度に比べ5,698人減少した。
需要量見込みや地域バランスをふまえて、定員数の変更や新規開設等を行い、5年間で定員数を49名から67名と18名、延べ利用定員を4,680人日分拡大し、目標とする供給量は確保している。
また、令和2年度に全施設において、ネット予約システムの導入が完了し、利便性の向上を図っている。

（今後の取組と方向性）
新型コロナウイルス感染症の終息後、本事業の変化を分析し、適切な供給量を検討していく。

（11）多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	12	14	17	17	17	17
②【目標】供給量（巡回支援員数）		人	12	14	17	17	17	17
③【実績】供給量（巡回支援員数）		人	20	25				
達成率	対　①需要量見込み	ー	166.7%	178.6%				
	対　②【目標】供給量	ー	166.7%	178.6%				

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	147.1%
	対　②【目標】供給量	147.1%

主管課：保育課、保育計画調整課

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

多様な主体が本制度に参入することを促進するため、各保育施設への巡回支援を実施している。

民間保育施設については、区内保育施設数の増加に対応するため、巡回支援員を増員した。

区立保育園については、新規委託に向けた準備委託を円滑に行うため、運営支援係を増員した。内容面では、委託園が受ける東京都福祉サービス第三者評価や監査に立会い、必要に応じて指導を行うとともに、各園で運営委員会を定期的に開催し、三者（保護者、施設、区）の関係の円滑化を図っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数が減った分は電話による聴取を行い、また、施設調査票を活用し巡回時間を短縮した。

（今後の取組と方向性）

巡回支援員数の供給量目標は達成している。引き続き保育の質の維持・向上を図る。

（「2　子どもの教育・保育の充実」における質的向上に関する評価）

民間活力の活用の推進により、保育内容の多様化と共に、病児・病後児保育や延長保育など、高度化・多様化するサービスに応じたきめ細やかなサービスの拡充が実現できており、保育サービスの質的向上につながっている。

また、練馬こども園の推進により、より一層教育・保育サービスの利用の選択の幅を広げることができている。

区LINE公式アカウントを活用した「保活支援サービス」は、条件に合った保育施設の検索、チャットボットを活用した保育に関する問合せへの自動応答、子育てに関する情報配信を行っており、忙しい子育て世代にとって、いつでも・どこでも「保活」ができる便利なサービスである。令和2年12月にLINEで行った利用者アンケートでは、保育施設の検索とチャットボットについては約8割が「非常に便利・便利」と、情報配信については約9割が「非常に役立つ・役立つ」と回答しており、利用者から高い評価を得ている。

令和2年度に利用者アンケートを行った事業について、子育てのひろばぴよぴよは99%が「大変満足・満足」、民設子育てのひろばは98%が「大変満足・満足」、ファミリーサポート事業は91%が「大変満足・満足」、乳幼児一時預かり事業は94%が「大変満足・満足」と感じているという結果がでている。

３　子どもの成長環境の充実

（1）放課後児童健全育成事業（学童クラブ）

		単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①需要量見込み		人	5,780	6,027	6,584	7,162	7,540	7,672
内訳	低学年	人	5,780	6,027	6,584	7,162	7,540	7,672
	高学年	人	1,397	790	762	773	788	802
②【目標】供給量（受入枠）		人	5,816	6,106	7,038	7,466	8,205	8,715
③【実績】供給量（受入枠）		人	5,784	6,126				
〔参考〕受入数（4月1日現在）		人	5,440	5,735				
達成率	対　①需要量見込み	ー	100.1%	101.6%				
	対　②【目標】供給量	ー	99.4%	100.3%				

※当面の間、低学年への対応を優先する。そのため、需要量見込みは　低学年のみとする（高学年の需要量見込みは、網掛け部分に参考値として表記する）。

【最終年度に対する】達成率	対　①需要量見込み	79.8%
	対　②【目標】供給量	70.3%

主管課：子育て支援課

〔参考〕令和3年4月1日時点の実績値

	単位	令和3年度
受入上限（ねりっこプラスを含む）	人	7,229
受入数（ねりっこプラスを含む）	人	6,217

◎「ねりっこクラブ」の実施状況

	単位	（参考）令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施校数	校	19	27	37
受入上限	人	1,785	2,480	3,393

（事業の進捗に関するコメント）

（令和2年度の実施状況）

すべての小学生に安全かつ充実した放課後や長期休業中の居場所を提供するため、平成28年度よりねりっこクラブを開始し、令和2年度までに27校で実施した。引き続きねりっこクラブを推進し、受入上限の拡大を進める。

（今後の取組と方向性）

令和3年4月から、ねりっこクラブを新たに10校で開始する。また、ねりっこ学童クラブを入会待機となった児童を対象に、ひろば事業終了後のひろば室を活用して、学童クラブに準ずる安全な居場所を提供する「ねりっこプラス」を開始し、受入枠の拡大を図っている。

令和4年4月には、ねりっこクラブを新たに8校で開始する。今後も早期の全校実施を目指し実施校の拡大に取り組む。

（「3　子どもの成長環境の充実」における質的向上に関する評価）

ねりっこクラブでは、学童クラブの受入上限の拡大、長期休業（夏・冬・春休み）も含めたひろば事業の実施に加え、民間事業者の企画力を生かしたプログラムの充実や、学童クラブとひろば事業の児童の交流の機会の拡大を図っている。これらのプログラム実施等の際は、プログラムがより一層充実したものとなるよう、区のコーディネーターも積極的な支援を行うよう努めている。また、小学校との連携を強化し、協力体制ができたことで、放課後における子どもたちの活動スペースの拡大が進んでいる。すべての小学生が充実した放課後を過ごす環境を整えるため、引き続き、ねりっこクラブの全校実施に向けた取組を推進する。

令和2年度の利用者アンケートでは、区立学童クラブは94%が「満足・どちらかといえば満足」、ねりっこ学童クラブは95%が「満足・どちらかといえば満足」と感じているという結果がでている。

４ 計画全体の実施状況

		単位	(参考)令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
達成率	対 ①需要量見込み	ー	134.9%	122.4%				
	対 ②【目標】供給量	ー	105.6%	106.2%				

【最終年度に対する】達成率	対 ①需要量見込み	118.5%
	対 ②【目標】供給量	97.1%

※上記の達成率は、目標値を設定している事業のすべての項目の達成率の平均値。

資　料　3

令和３年９月17日
教育委員会事務局

令和３年第三回練馬区議会定例会提出議案について

令和３年８月20日第16回教育委員会定例会で報告した令和３年第三回練馬区議会定例会への議案提出について、以下のとおり区長より提出されたので、報告する。

No.	所管課	件名および内容説明	施行日
1	保健給食課	練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例 （内容） 別紙１のとおり	公布の日
2			
3			
4			
5			

写

別　　紙	1

議案第７２号

練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和３年９月１０日

提出者　練馬区長　前　川　燿　男

練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例（平成14年３月練馬区条例第43号）の一部をつぎのように改正する。

第11条第２項第１号中「166,950円」を「171,650円」に改め、同項第２号中「72,990円」を「73,090円」に改め、同項第３号中「83,480円」を「85,780円」に改める。

付　則

（施行期日等）

１　この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例（以下「新条例」という。）の規定は、令和３年４月１日（以下「適用日」という。）から適用する。

（経過措置）

２　新条例第11条第２項第１号から第３号までの規定は、適用日以後に支給すべき事由が生じた介護補償について適用し、適用日前に支給すべき事由が生じた介護補償については、これらの規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　適用日からこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までの間において、この条例による改正前の練馬区立小学校および中学校の学校医、学

校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例第11条第２項第１号から第３号までの規定に基づく介護補償（適用日から施行日の前日までの間に支給すべき事由が生じたものに限る。）として支払われた金額は、これらに相当する新条例の規定に基づく介護補償の内払とみなす。

参考資料

令和３年９月16日

教育振興部保健給食課

議案第７２号　練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

１　改正の理由

都立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正に伴い、介護補償の限度額について、東京都との均衡を図るため、所要の改正を行う。

２　改正の内容

介護補償の限度額を改定する。（第11条関係）

⑴　常時介護を要する状態にあり実費を支出して介護を受けた日がある場合

166,950円　→　171,650円

⑵　常時介護を要する状態にあり親族等による介護を受けた日がある場合

72,990円　→　73,090円

⑶　随時介護を要する状態にあり実費を支出して介護を受けた日がある場合

83,480円　→　85,780円

３　施行期日

公布の日

４　新旧対照表

別紙のとおり

練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例新旧対照表

現　行	改正案
（介護補償） 第11条　［略］ ２　介護補償は、月を単位として行うものとし、その額は、１月につき、つぎの各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。 ⑴　介護補償に係る障害（障害の程度に変更があった場合は、その月における最初の変更の前の障害。第３号において同じ。）が常時介護を要する程度の障害として規則で定めるものに該当する場合（次号において「常時介護を要する場合」という。）において、その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日があるとき（同号に掲げるときを除く。）　その月における介護に要する費用として支出された額（その額が166,950円を超えるときは、166,950円） ⑵　常時介護を要する場合において、その月（新たに介護補償を行うべき事由が生じた月を除く。以下この号および第４号において同じ。）に親族またはこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあっては、当該介護に要する費用として支出された額が72,990円以下であるときに限る。）　72,990円 ⑶　介護補償に係る障害が随時介護を要する程度の障害として規則で定めるものに該当する場合（次号において「随時介護を要する場合」という。）において、その月に介護に要する費用を支	（介護補償） 第11条　［略］ ２　介護補償は、月を単位として行うものとし、その額は、１月につき、つぎの各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。 ⑴　介護補償に係る障害（障害の程度に変更があった場合は、その月における最初の変更の前の障害。第３号において同じ。）が常時介護を要する程度の障害として規則で定めるものに該当する場合（次号において「常時介護を要する場合」という。）において、その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日があるとき（同号に掲げるときを除く。）　その月における介護に要する費用として支出された額（その額が171,650円を超えるときは、171,650円） ⑵　常時介護を要する場合において、その月（新たに介護補償を行うべき事由が生じた月を除く。以下この号および第４号において同じ。）に親族またはこれに準ずる者による介護を受けた日があるとき（その月に介護に要する費用を支出して介護を受けた日がある場合にあっては、当該介護に要する費用として支出された額が73,090円以下であるときに限る。）　73,090円 ⑶　介護補償に係る障害が随時介護を要する程度の障害として規則で定めるものに該当する場合（次号において「随時介護を要する場合」という。）において、その月に介護に要する費用を支

出して介護を受けた日があるとき（同号に掲げるときを除く。）　その月における介護に要する費用として支出された額（その額が83,480円を超えるときは、83,480円） ⑷　［略］ 付　則　［略］	出して介護を受けた日があるとき（同号に掲げるときを除く。）　その月における介護に要する費用として支出された額（その額が85,780円を超えるときは、85,780円） ⑷　［略］ 付　則　［略］ 付　則 （施行期日等） １　この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例（以下「新条例」という。）の規定は、令和３年４月１日（以下「適用日」という。）から適用する。 （経過措置） ２　新条例第11条第２項第１号から第３号までの規定は、適用日以後に支給すべき事由が生じた介護補償について適用し、適用日前に支給すべき事由が生じた介護補償については、これらの規定にかかわらず、なお従前の例による。 ３　適用日からこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までの間において、この条例による改正前の練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例第11条第２項第１号から第３号までの規定に基づく介護補償（適用日から施行日の前日までの間に支給すべき事由が生じたものに限る。）として支払われた金額は、これらに相当する新条例の規定に基づく介護補償の内払とみなす。

資　料　4

令和３年９月17日
教育振興部教育総務課

令和４年度学校用務業務民間委託について

１　新規委託予定校（４校）

	小　学　校
1	石神井小学校
2	下石神井小学校
3	北原小学校
4	大泉第二小学校

２　委託開始予定

令和４年４月１日

３　委託実績

	令和３年４月１日現在	令和４年４月１日（予定）
小学校	４６校	５０校
中学校	３３校	３３校
合　計	７９校	８３校

資　料　5

令和３年９月17日
教育振興部保健給食課

令和４年度学校給食調理業務民間委託について

１　新規委託予定校（２校）

	小　学　校
１	開進第一小学校
２	大泉西小学校

２　委託開始予定

令和４年４月１日

３　委託実績

	令和３年４月１日現在	令和４年４月１日（予定）
小学校	５４校	５６校
中学校	３３校	３３校
合　計	８７校	８９校

資　料　6

令和３年９月 17 日
教育振興部教育指導課

令和３年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について

１　調査の趣旨

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

２　調査の対象となる児童生徒

国・公・私立学校の小学校第６学年、中学校第３学年

３　調査事項

（１）児童生徒に対する調査
①教科（国語、算数・数学）に関する調査
②学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

（２）学校に対する質問紙調査

４　調査日

令和３年５月２７日（木）

５　調査実施校

（１）小学校６５校
（２）中学校３３校

６　調査結果（平均正答率）

（１）小学校＜公立＞

	国語	算数
練馬区	６８	７５
東京都	６８	７４
全国	６４．７	７０．２

（単位：％）

（２）中学校＜公立＞

	国語	数学
練馬区	６８	６１
東京都	６７	６０
全国	６４．６	５７．２

（単位：％）

資　料　7

令和３年９月17日
教育振興部教育指導課

練馬区新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策強化月間の実施について

１　基本方針

（１）令和２年度当初に行った臨時休業期間の様々な課題を踏まえ、継続的に学習に取り組み学びを深めること、生活習慣を維持すること、多くの関わりの中で心の安定を保つこと等の重要性を踏まえ、教育活動を止めず、９月１日より２学期を始業する。

（２）今般の地域や児童生徒等の急激な感染拡大の状況を踏まえ、各学校・園において感染防止対策を一層徹底する。

（３）全ての児童生徒等の学習保障と心のケアを行うため、放課後の個別指導やオンライン授業により学びの機会をつくるとともに、教育相談機能を充実させて児童生徒の不安感を払拭する。

２　内容

（１）小中学校、小中一貫教育校における「一斉短縮授業」の実施（緊急事態宣言中）
※幼稚園は通常通り

（２）校内における感染防止対策の徹底および意識啓発
①　感染予防のガイドライン等に基づく対策の再確認および徹底
②　教育委員会作成の児童生徒向け啓発ポスターの教室等での掲示
③　校長講話や各担任の指導等による児童生徒たちの意識啓発

（３）教育相談の充実と心のケア
①　長期休業明けの児童生徒たちの丁寧な観察と気になる児童生徒に関する学校と教育委員会による情報共有
②　相談窓口の複数化と相談しやすい環境づくり
③　学校および関係機関における必要な支援の実施

（４）感染不安等により登校しない児童生徒に関する実態把握と当該児童生徒への支援
①　９月１日、２日、３日、６日、１３日の５日間における登校状況調査の実施
②　オンライン等による健康観察、心のケア
③　オンライン等による個別または一斉の学習支援

３　その他

８月３１日に全教職員を対象にＷｅｂ会議システムによる「練馬区新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策強化月間の実施」に係るメッセージを発信

資　料　8

令 和 3 年 9 月 1 7 日
こども家庭部こども施策企画課

第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの
検討に向けたニーズ調査の実施について

1　調査目的

就学前児童および小学校児童の保護者に対してアンケートを行うことにより、就労状況や教育・保育サービスなどの利用状況、今後の利用意向等を把握し、「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの検討に向けた基礎資料とする。

2　調査対象および対象件数

下表の調査対象者の中から、回答者を区が抽出した上で実施する。

調査対象	抽出方法	抽出件数
就学前児童家庭	住民基本台帳のうち、平成 27 年４月２日以降生まれの児童がいる世帯を無作為抽出	3,000 件程度
小学校児童家庭	住民基本台帳のうち、平成 21 年４月２日以降生まれの児童がいる世帯を無作為抽出	3,000 件程度

3　調査方法

郵送配付し、郵送回収または Web 回答（児童の保護者が回答）

4　主な調査内容

計画の中間見直しのための調査であり、時点の比較を行う必要があることから、調査項目は平成 30 年度に実施した前回調査時と原則同一としつつ、新型コロナウイルス等感染症の影響による選択肢等を追加する。

（１）国の子ども・子育て支援事業計画策定に係る手引きに基づく項目（家族の状況、保護者の就労状況および就労希望、子育て支援事業等の利用状況および利用希望、放課後の過ごさせたい場所、子育て環境等への満足度、など）

（２）新型コロナウイルス感染症の影響による項目（事業を利用しない理由の選択肢に「感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため」、など）

5　調査結果の集計等

単純集計およびクロス集計を行い、結果を取りまとめた報告書を作成する。

6　スケジュール

令和３年 11 月上旬　調査票発送
令和４年３月頃　　報告書取りまとめ